

第Ⅱ部 調査の結果

第 1 節 福井城下について

徳川家康の次男の結城秀康を藩祖とする福井藩は、当初68万石を領有する全国有数の大大名であり、その城下町はこの格式にふさわしい4重、5重の堀が巡る大規模なものであった。

この節では、松平文庫の城下絵図を中心に、描かれている時代および史料の内容（情報量の多さ、保存状態等）を考慮し、10点の城下絵図を選定し、全体図と拡大図により福井城下の構成と変遷を紹介する。

「御城下之図 貞享二年」



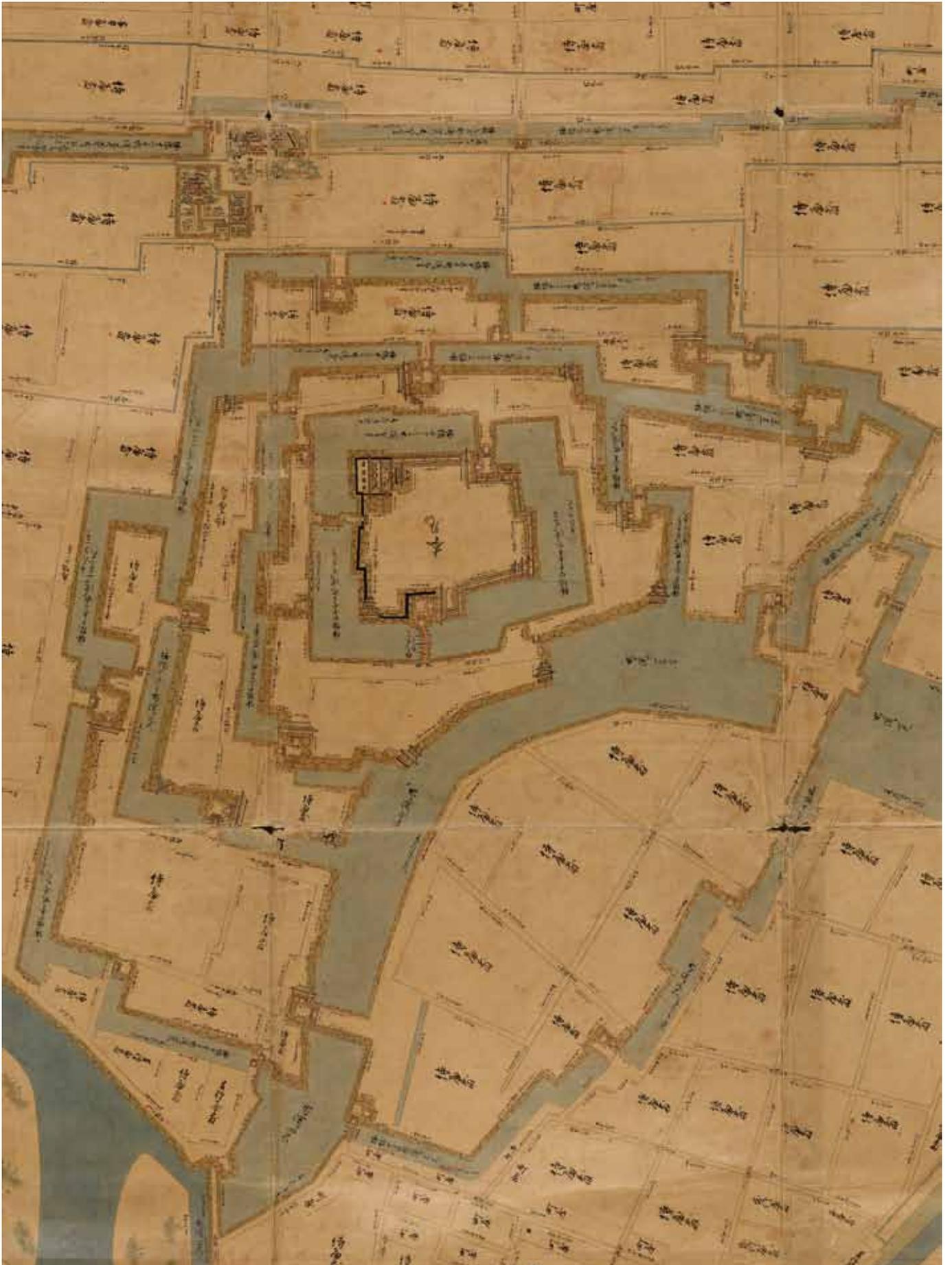
(松平文庫(1322) 福井県立図書館保管)

(255×241cm)

絵図の裏書には貞享2年(1685)とあるが、内容は正保年間(1644-48)のもの。幕府に提出した「正保城絵図」の控図と考えられ、櫓、城門、堀の幅や水深、石垣の高さなどが詳細に記されている。ただし武家屋敷には「侍屋敷」とのみで、各家臣の姓名は記されていない。

※「松平文庫」の後の括弧()内の数字は松平文庫史料番号(以下同じ)

【拡大図】



「御城下絵図(寛文年間)」



(松平文庫(1319) 福井県立図書館保管)

(138×133cm)

寛文初年(1661)頃の状況を示す屋敷図と判断される。武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が付箋で記載されており、当時の武家屋敷割を具体的に知ることができる。

【拡大図】



「福居御城下絵図 貞享二年」

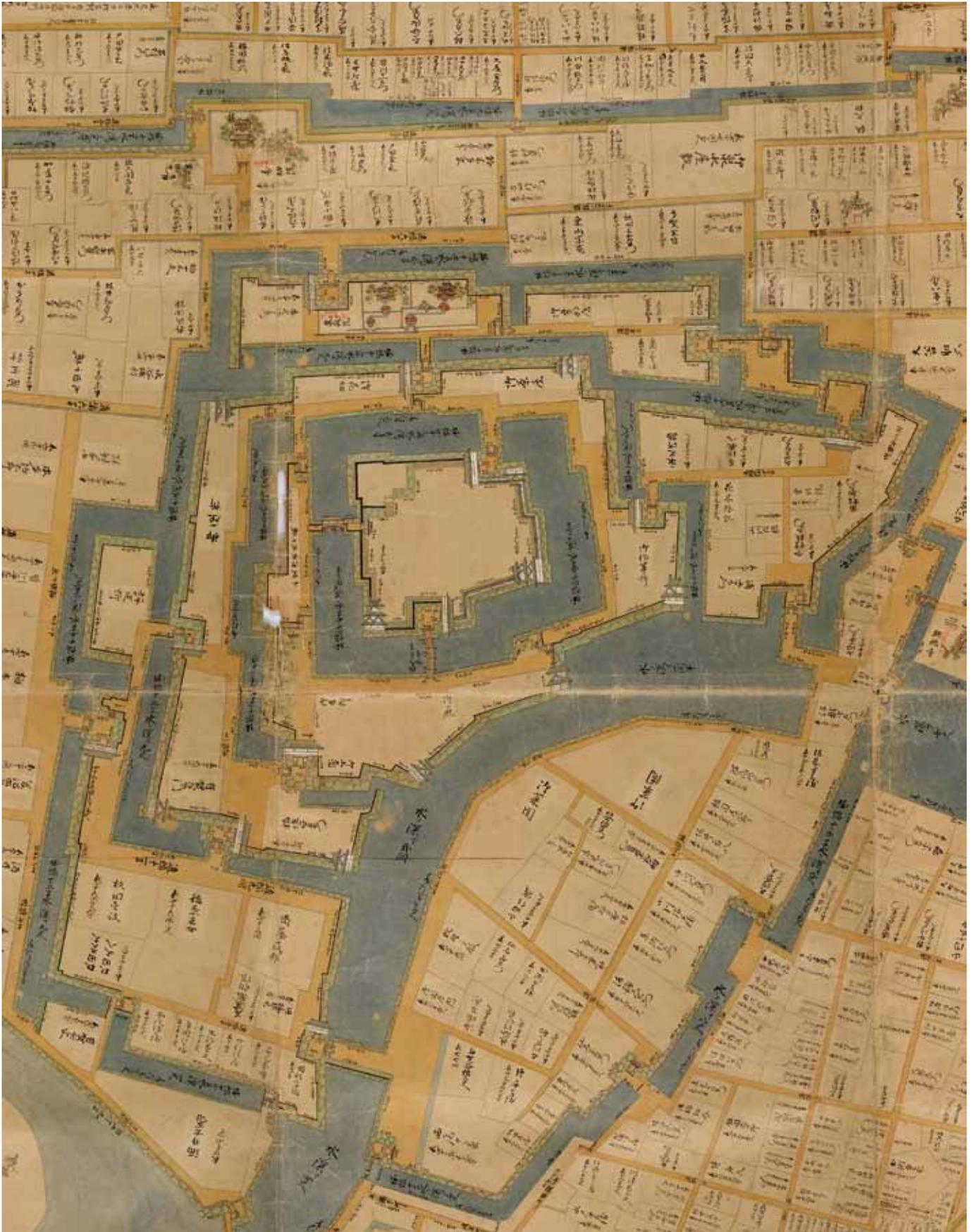


(松平文庫(1320) 福井県立図書館保管)

(282×317cm)

貞享2年(1685)藩命により作成された図。寛文9年の大火を経て、荒川の東にも武家屋敷が広がるなど、福井の城下町が最大となった時期を示す。「御城下之図 貞享二年」の描き方を踏襲し、さらに各武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が詳細に記されている。

【拡大図】



「御城下之絵図 正徳四年」

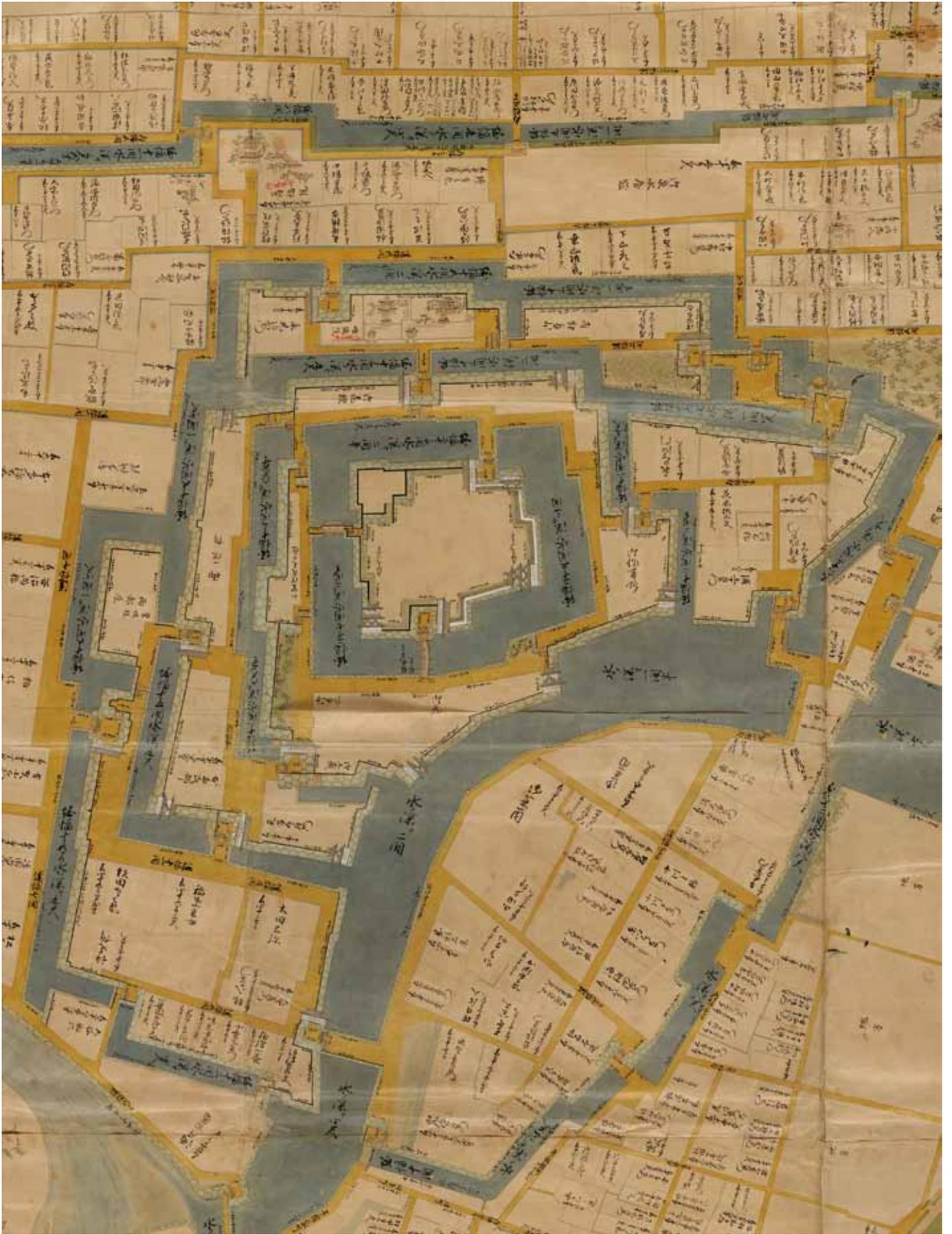


(松平文庫(1325) 福井県立図書館保管)

(285×320cm)

正徳4年(1714)藩命により作成された図。「福居御城下絵図 貞享2年」と同じく各武家屋敷は姓名、間口・奥行間数が詳細に記されているが、貞享3年(1686)の「貞享大法」(25万石へ半減)後、荒川の東は勿論、城東域の広い範囲と足羽川の南の毛矢の侍屋敷が「地方」すなわち周辺農民の耕作地となっている。

【拡大図】



「御城下絵図 安永四年」

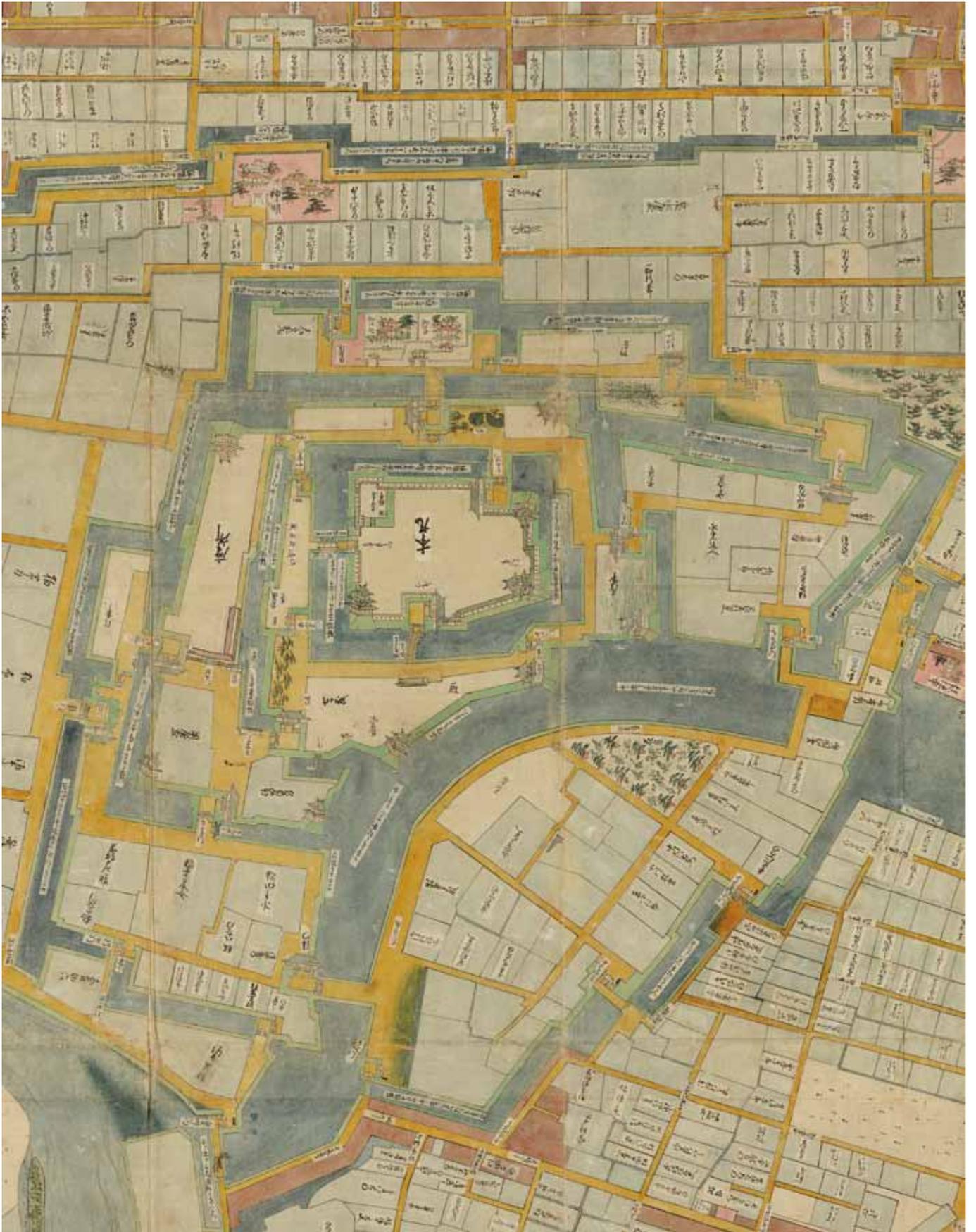


(松平文庫(1336) 福井県立図書館保管)

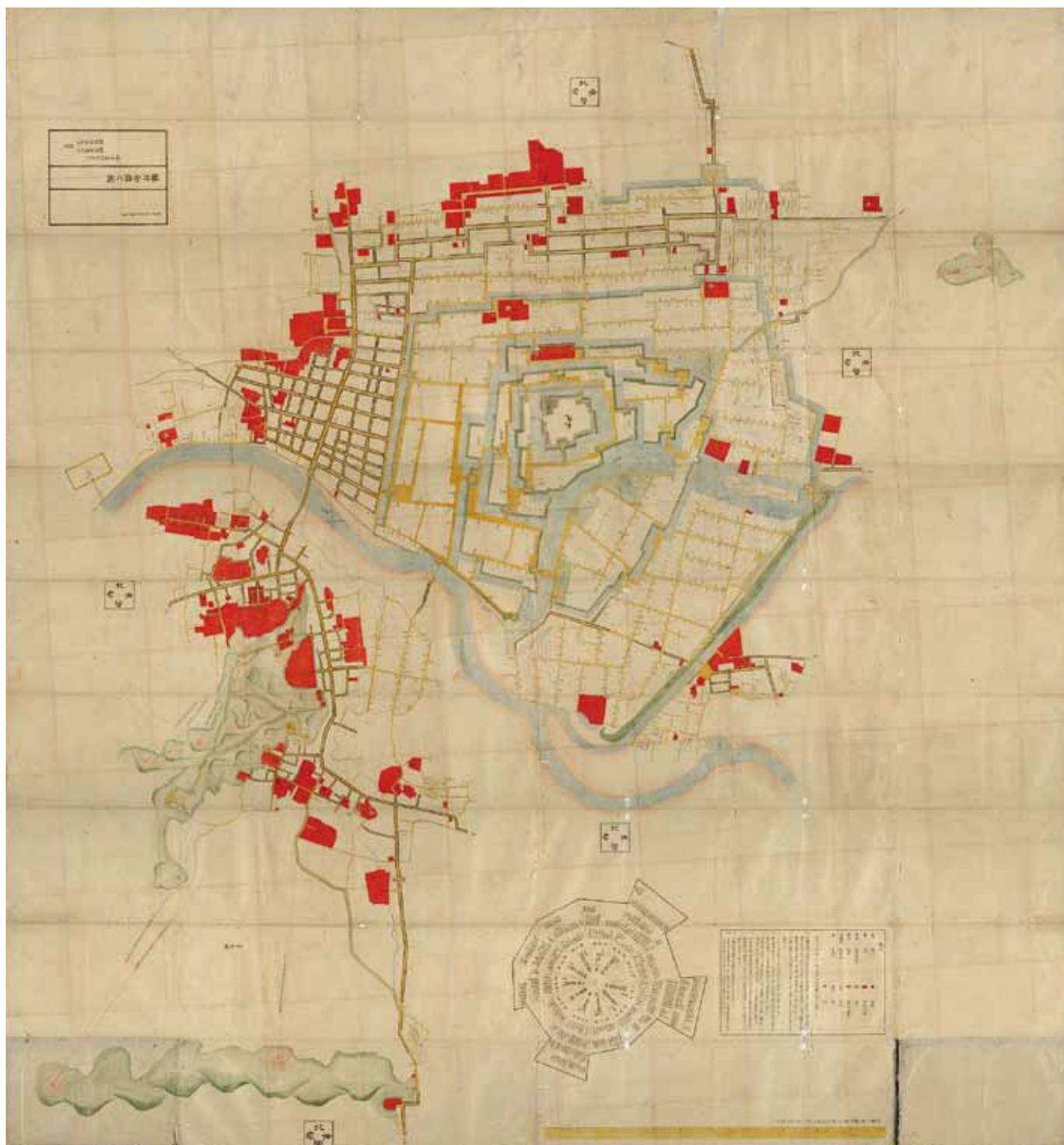
(230×217cm)

安永4年(1775)に作成された図。貞享3年(1686)の「貞享大法」後、削減された武家屋敷が享保6年(1721)の松岡藩合併による家臣団の移住により、再び回復している様子がわかる。ただし家臣姓名は張り紙のため、剥落したのか空白が多い。

【拡大図】



「福井分間之図 田辺利忠・跡部敏勝 享和三年」

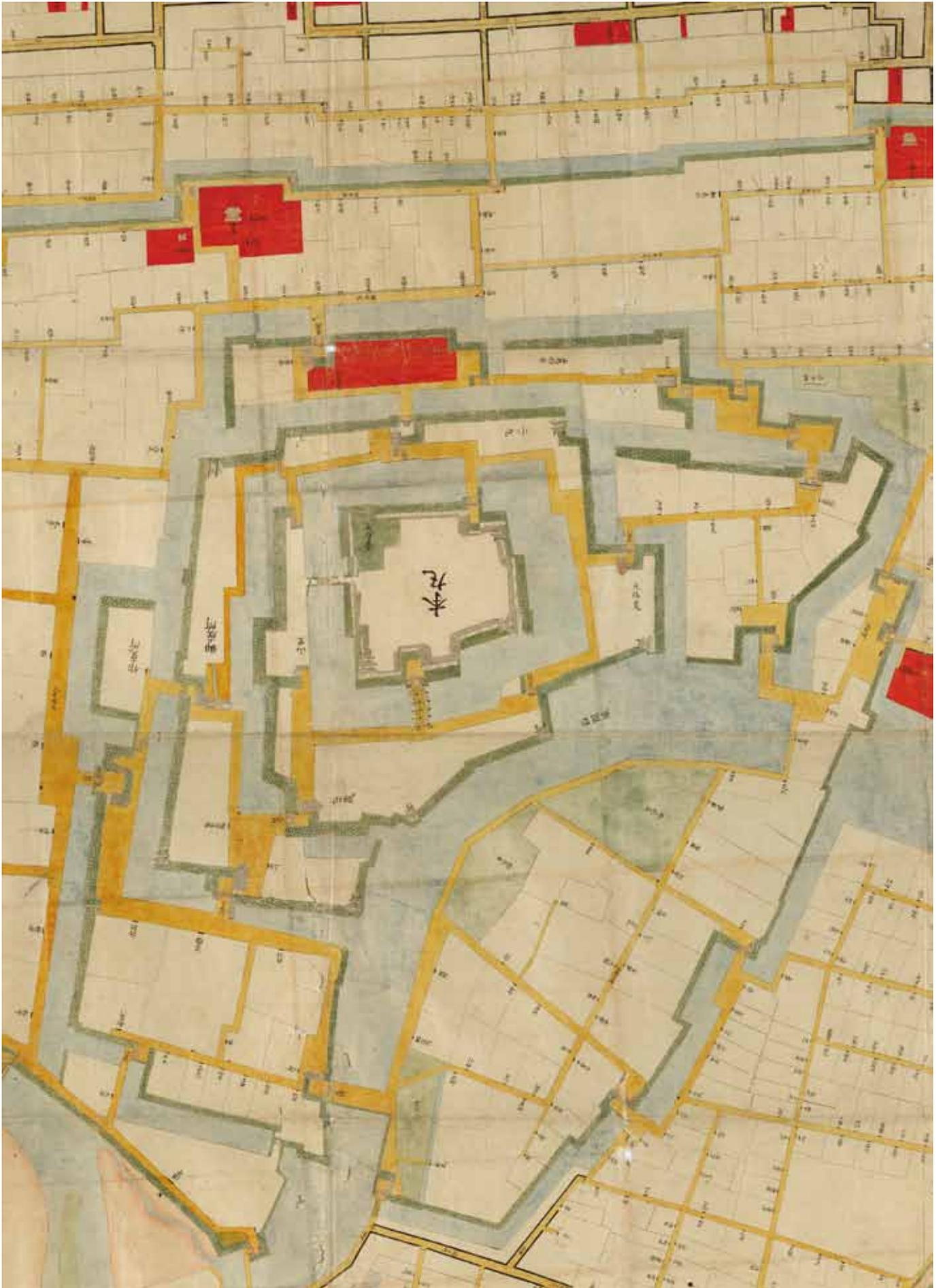


(松平文庫(1337) 福井県立図書館保管)

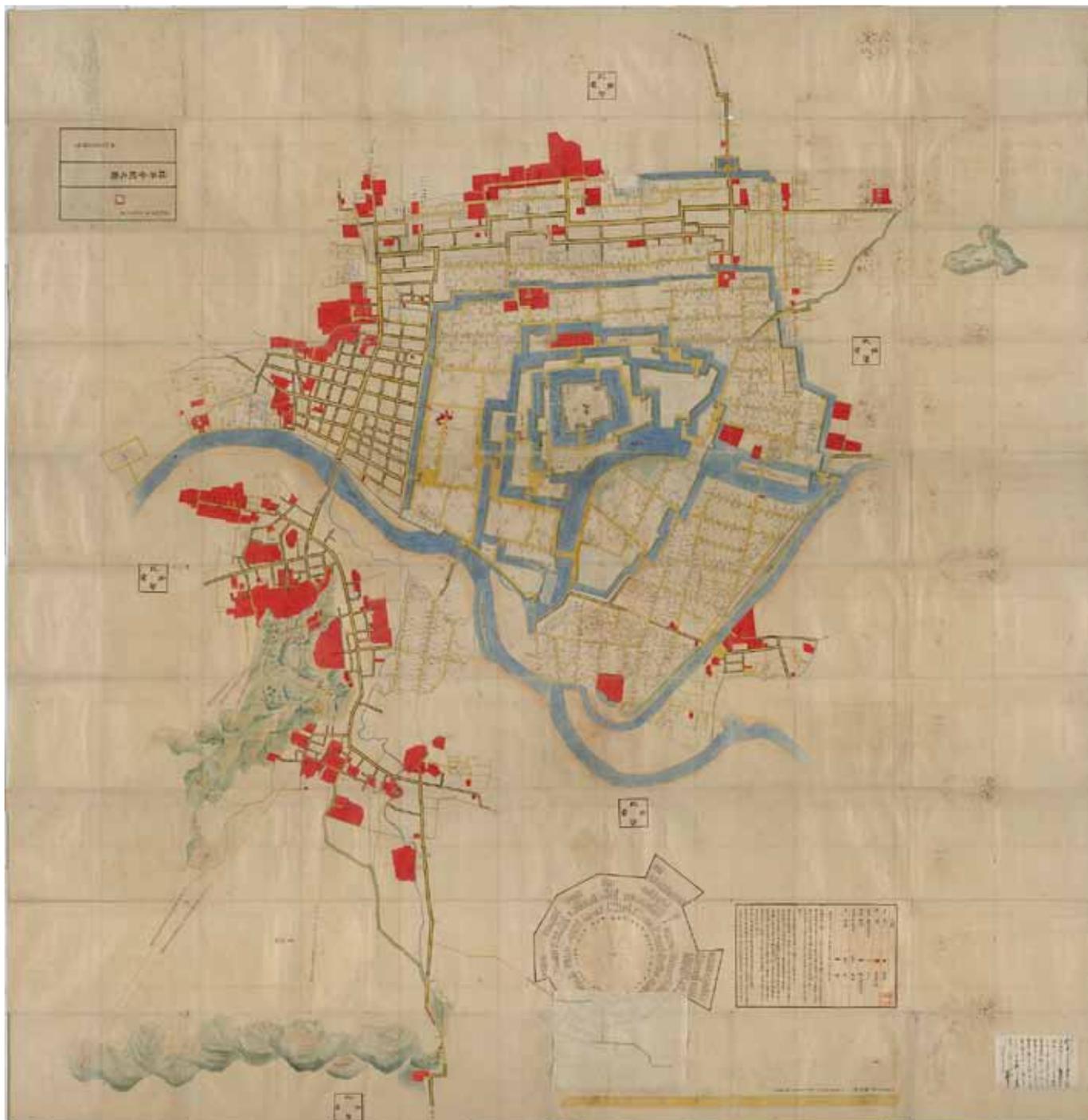
(306×282cm)

享和3年(1803)福井藩士田辺利忠と跡部敏勝が実測により作成した図で、以降の城下図の基本となった。武家屋敷地には門の位置に家臣の姓のみが記されている。

【拡大図】



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」

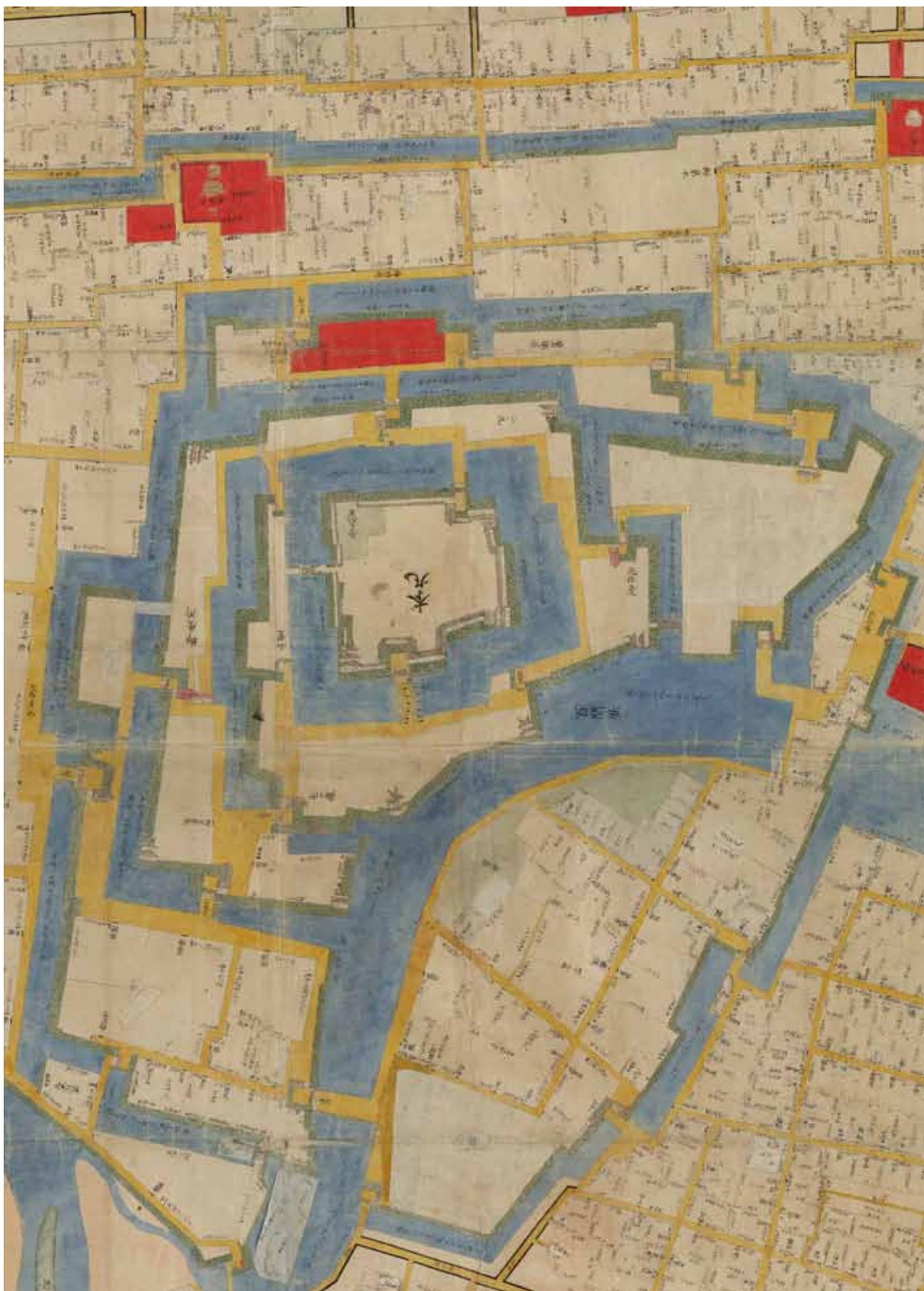


(松平文庫(1340) 福井県立図書館保管)

(290×302cm)

文化8年(1811)福井藩士中村多一郎(理大夫)が藩命により享和3年の分間図を写したもの。したがって武家屋敷地には門の位置に家臣の姓のみが記されているところは同じであるが、本図では屋敷地の間口・奥行の間数が記されており、また屋敷替えを付箋などによりその都度訂正して、明治初年まで使用しているところが異なる。

【拡大図】



「安政前後福井城下之図」

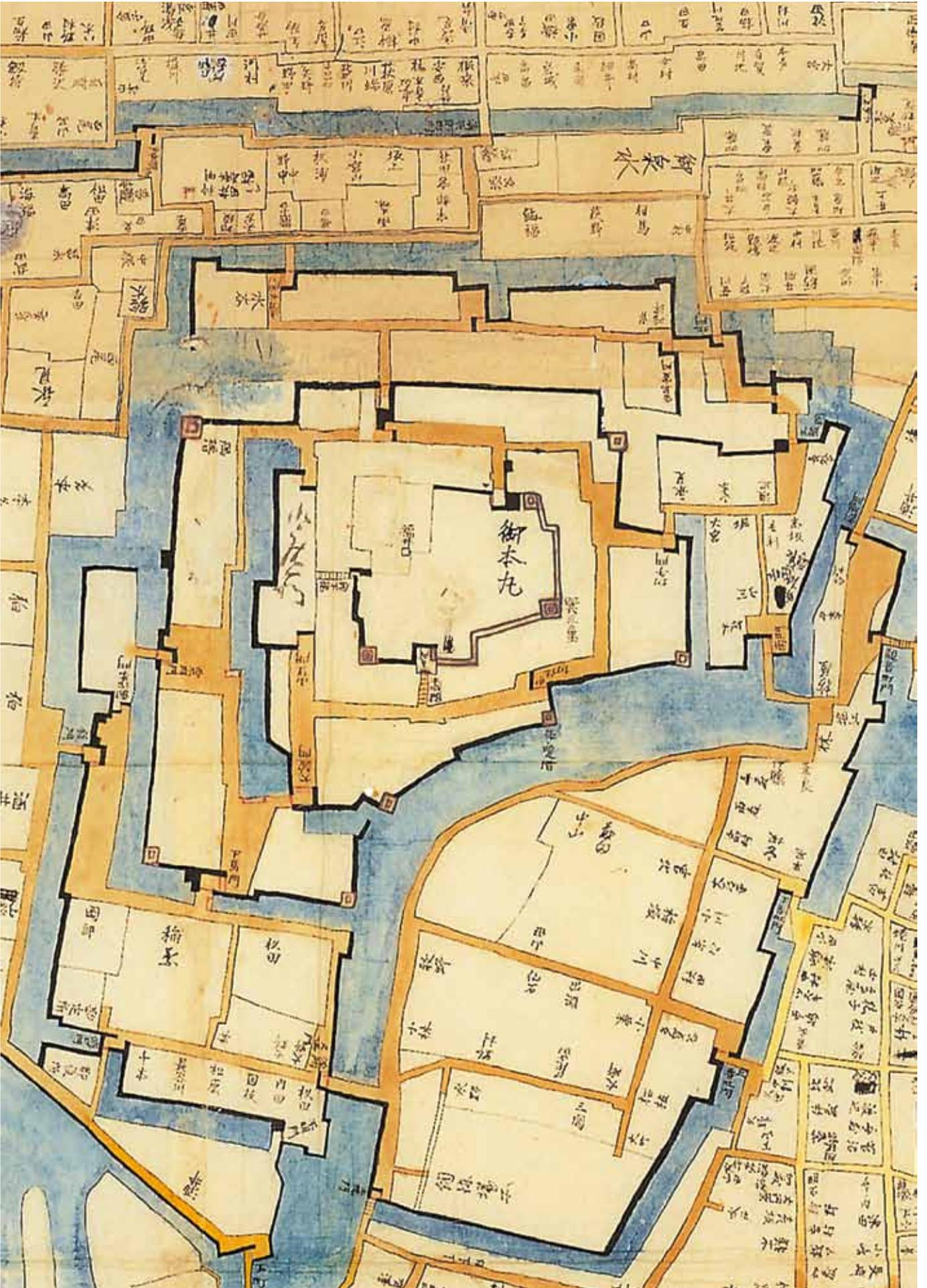


(明治大学図書館蔵)

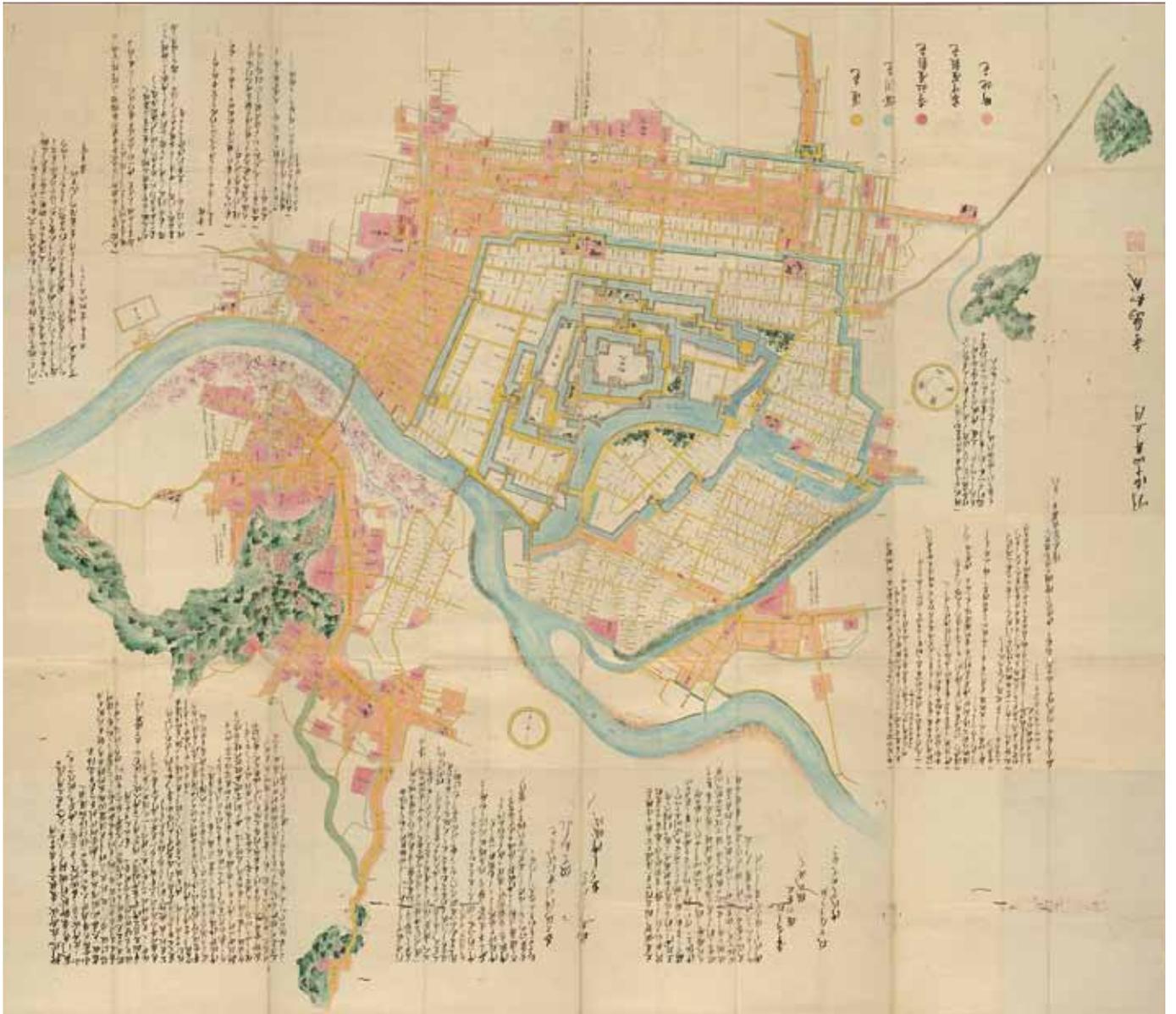
(91.2×117.5cm)

本図は91.2×117.5cmの大きさで、他の図、例えば「福井分間之図(文化8年)」(290×302cm)と比べると縦横とも約三分の一に過ぎない。したがって櫓、門などに絵画的な描写はないが、武家屋敷には各家臣の姓が記されている。内容から安政2年(1855)頃の図と判断される、幕末期の貴重な絵図の一枚である。

【拡大図】



「御城下之図」



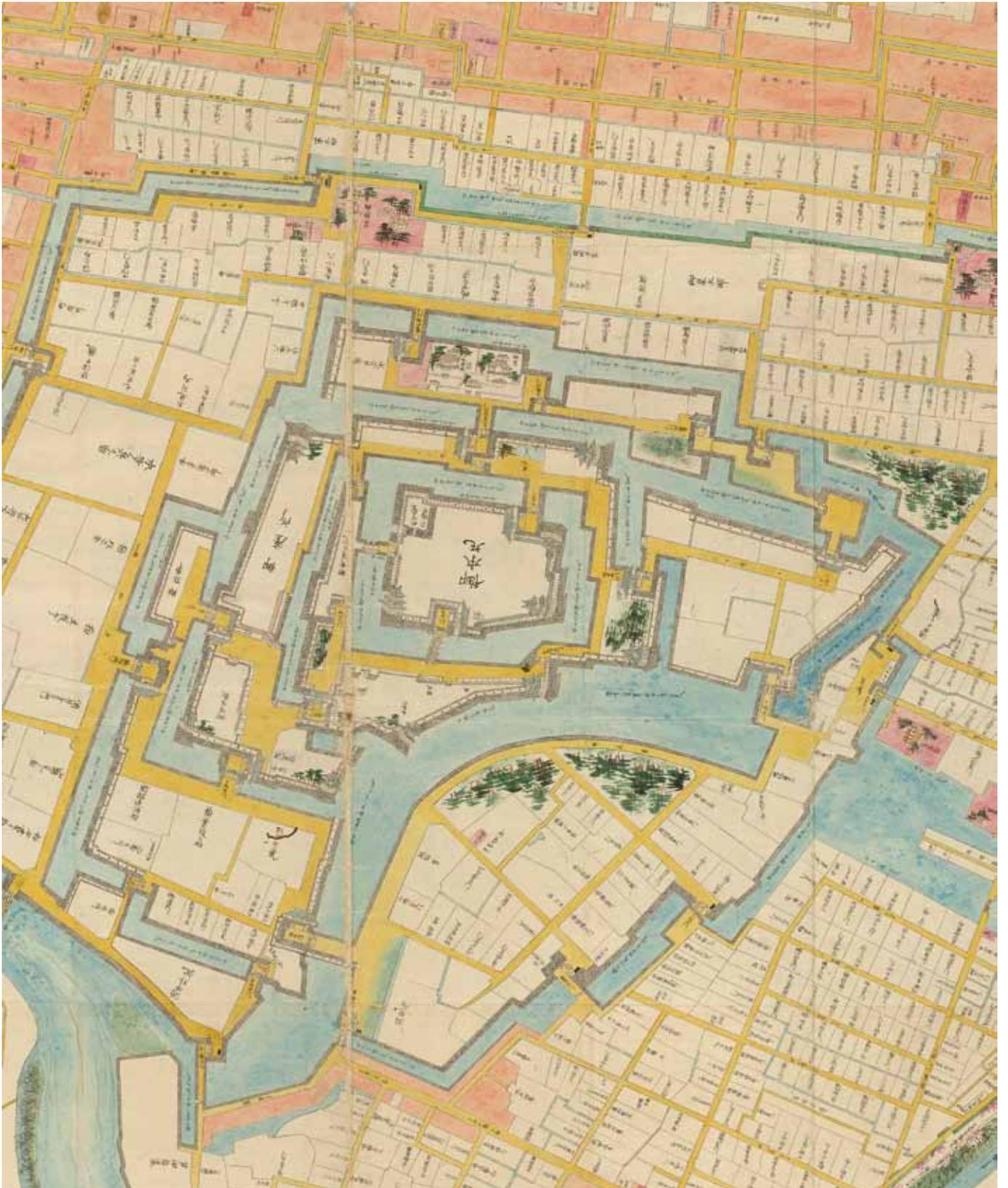
(松平文庫(1342) 福井県立図書館保管)

(232×228cm)

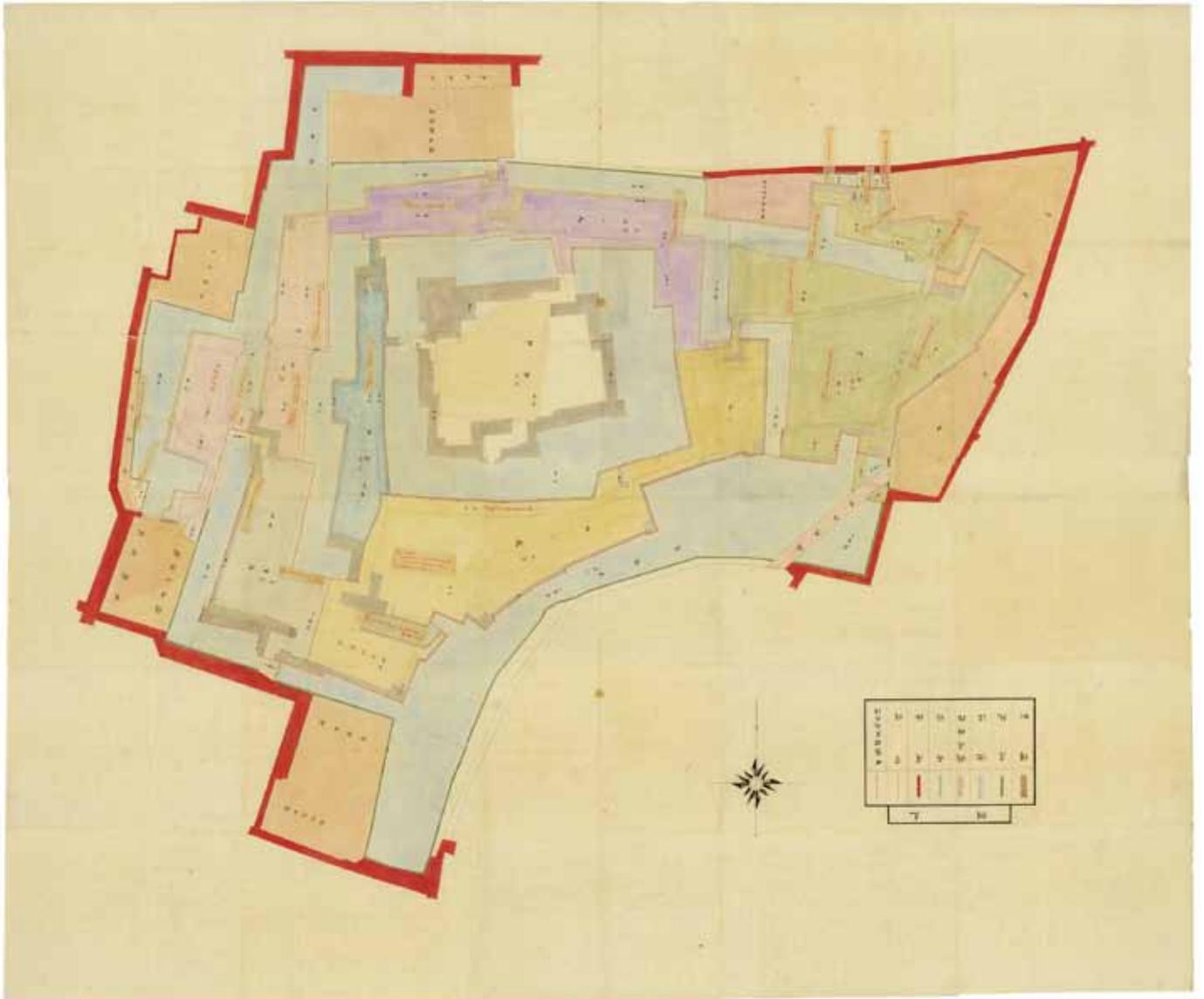
明治14年(1881)に旧藩士寺島知義が幕末頃の様子を回想して描いたもの。したがって、記術内容はやや正確さを欠く部分もある。公式に作成された城下絵図に比べると、色彩豊かで絵画的に描かれている。本図の最大の特徴は図の四周に作者の添書きがあることで、福井城の沿革や城下町の景況、明治維新以後の急激な変貌の様子を記録し、さらに続けて次のように本図作成の意図を述べている。

「(前略)従前之形更ニ無之、当節之ものすら途方を失ひ候体ニ有之、猶追々城中よりも木石引出し、四ノ曲輪相残る所々取壊居最中之形勢、如何ニも旧来全盛之事想像候得者難堪遺憾、心底より一途に思ひ立、御城内外之模様を初、諸士屋敷々々、市中之図明細書残し、後世へ伝へ、衆人之博覧ニ備度(中略)、近く御一新以前之図ニ夫々委敷書加ふるものなり」

【拡大図】



「福井城地世襲財産二御届出相成節城地調査絵図 明治三一年」



(松平文庫(1396) 福井県立図書館保管)

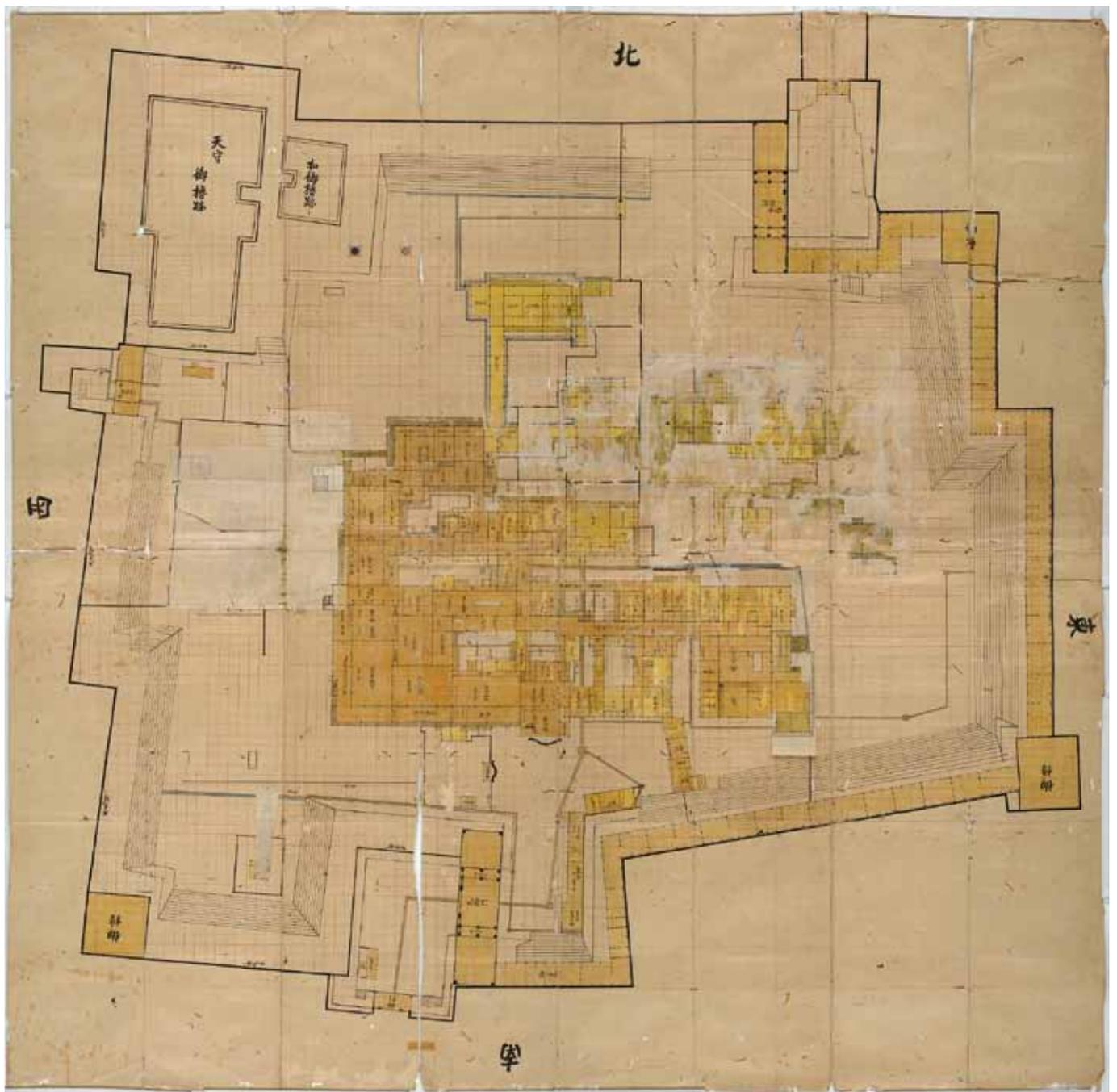
(156×190cm)

明治23年(1890)に松平家に払い下げられた旧城跡の明治31年(1898)の実測図。堀、石垣など廃藩後の旧城跡の状況を詳細に示している。

第 2 節 本丸御殿について

この節では、松平文庫の本丸指図から、描かれている時代および史料の内容（情報量の多さ、保存状態等）を考慮し、5点の指図を選定し、本丸御殿の構成と変遷を紹介する。

「御本丸指図 文政一三年」

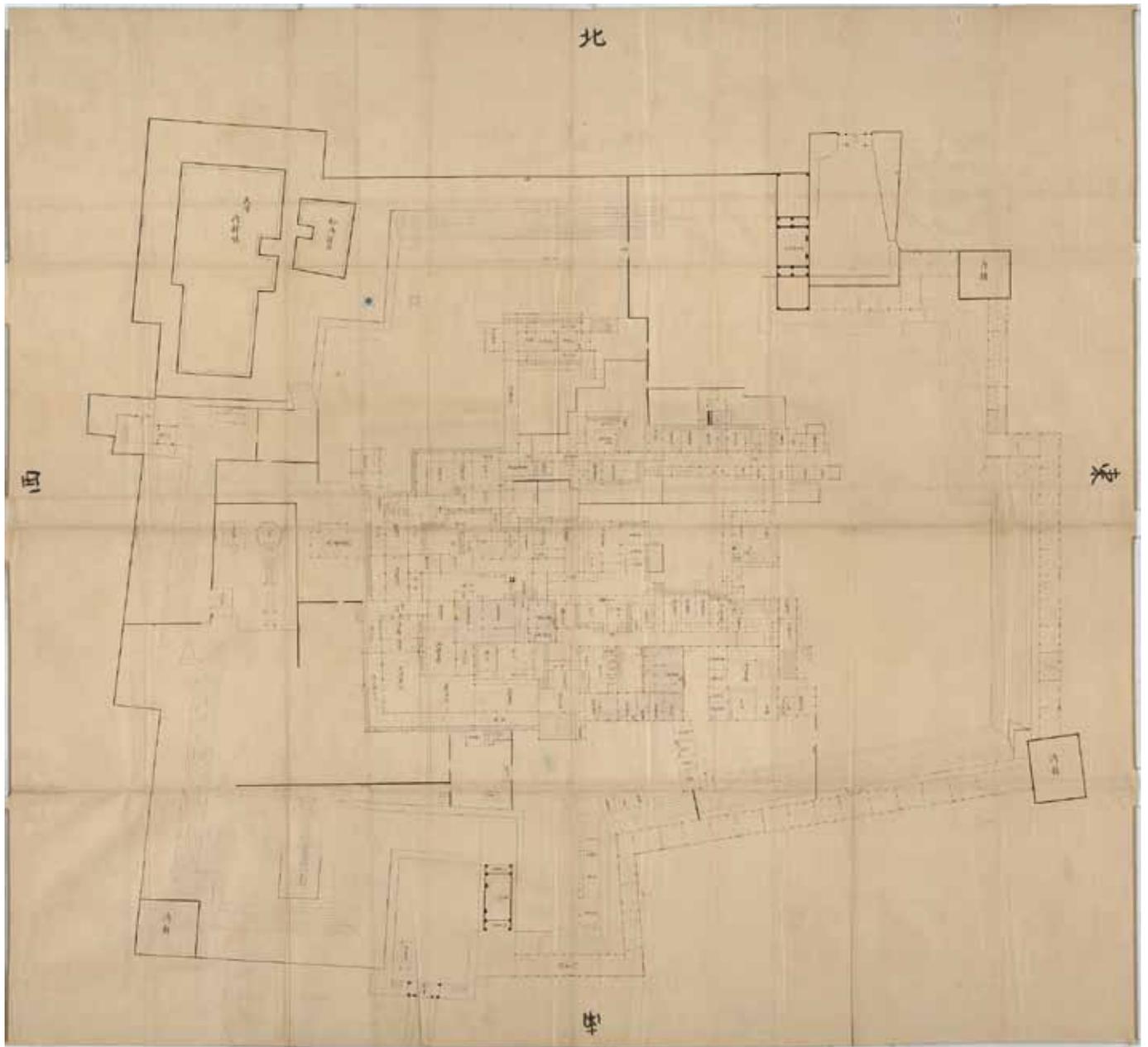


(松平文庫(1363) 福井県立図書館保管)

(162×163cm)

文政13年(1830)御本丸住居増築の計画図面で、その後さらに改築した部分を懸紙で改正してある。さらに天保13年(1842)に三の丸の御座所へ移した際、取り払われた部分を白懸紙で隠している。

「天保二卯年出来御本丸御住居中之図」

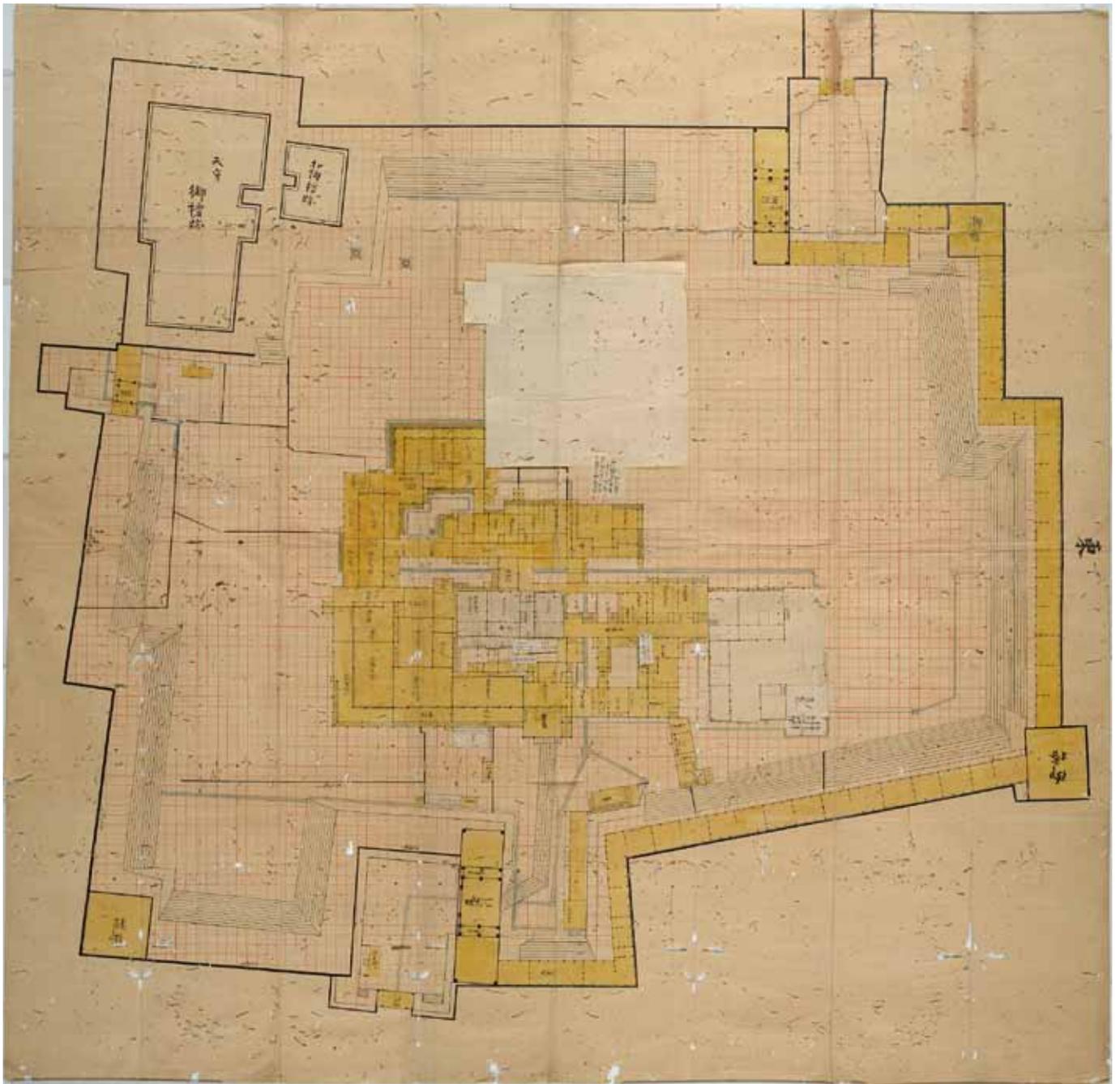


(松平文庫(1364) 福井県立図書館保管)

(137×149cm)

14代齊承のための大奥御座所が完成した頃の本丸御殿の図。

「御本丸御絵図 嘉永元年」



(松平文庫(1365) 福井県立図書館保管)

(160×161cm)

14代齊承、15代齊善の代は本丸に御座所を設けていたが、天保14年(1843)に慶永が16代藩主として入部した際、御座所は再び西三の丸に移された。本図はこの頃の図(嘉永元年(1848))。

「福井城本丸御建物図」



(松平文庫(1370) 福井県立図書館保管)

(114×110cm)

文政6年(1823)頃の本丸御殿の図。

「御本丸御殿ノ図」



(松平文庫(1371) 福井県立図書館保管)

(167×200cm)

14代齊承の御座所が完成した天保2年(1831)以降の本丸御殿の図と考えられる。

その他の史料

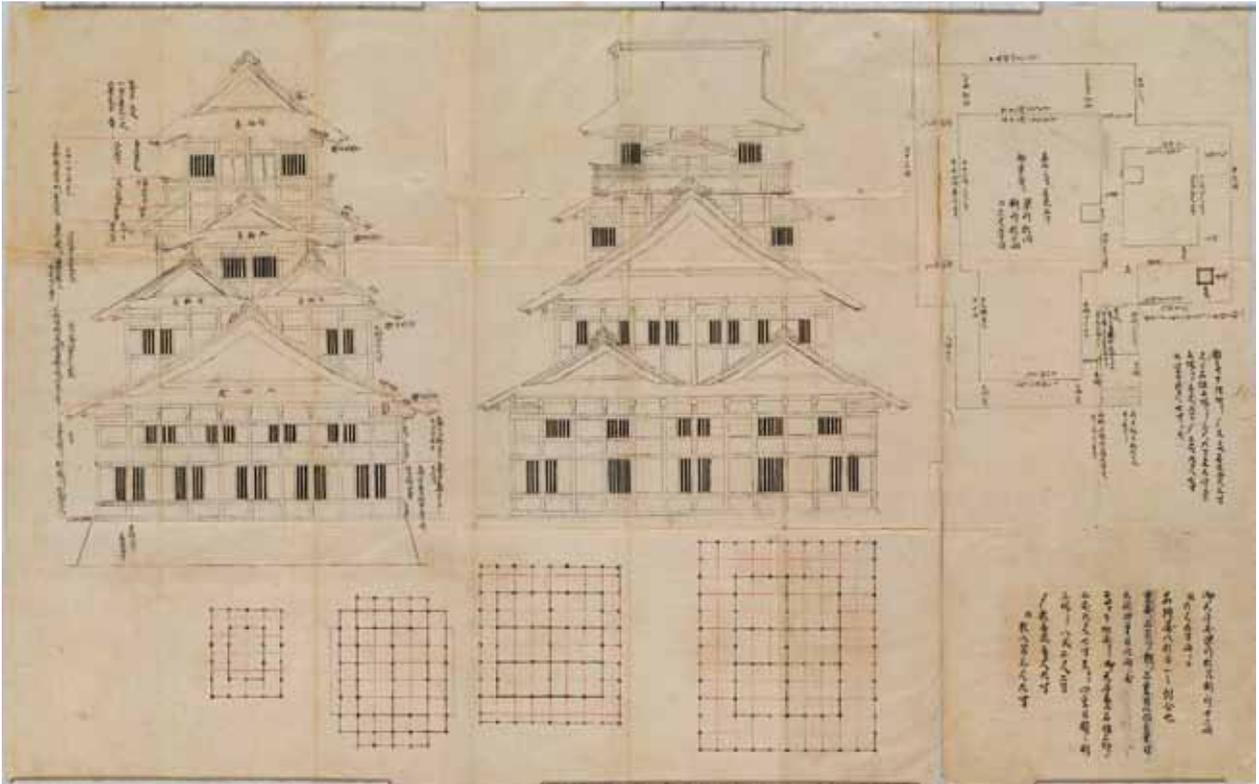


『福井城舊景』「御本丸」（福井県立図書館蔵）

第3節 御天守について

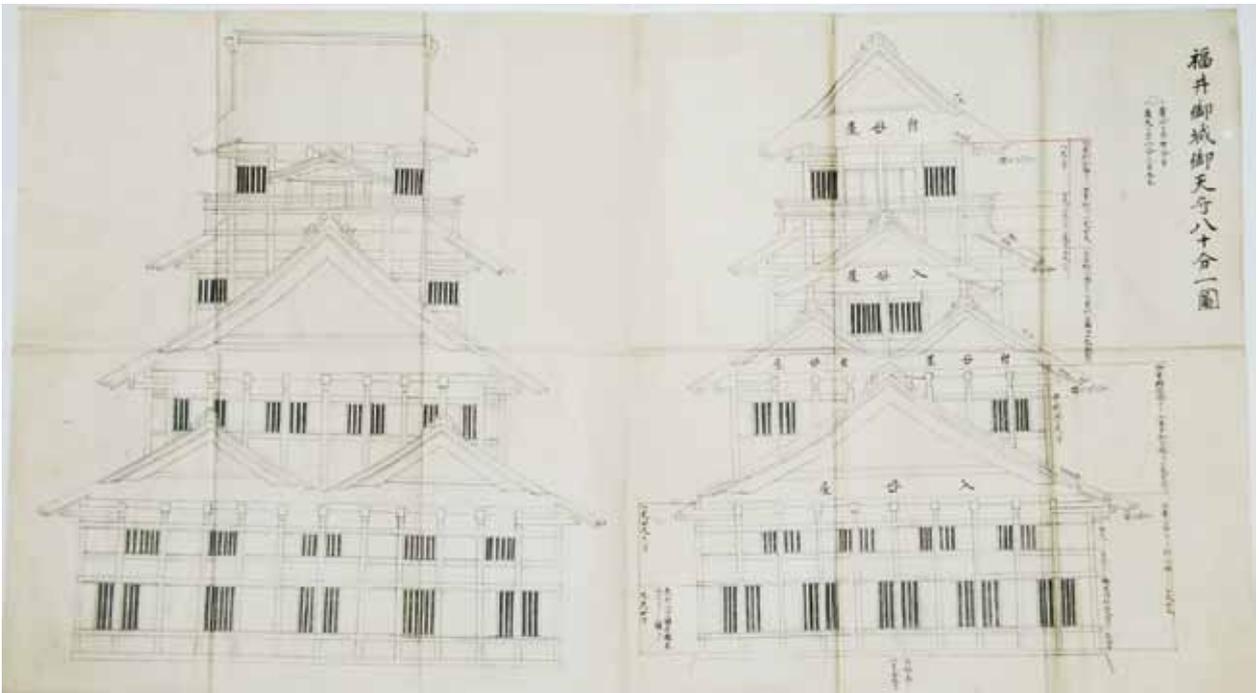
福井城の御天守は寛文9年(1669)の大火で焼失し、以後、再建されなかった。このため御天守に関する史料は少なく、この節では、2点のみ確認されている立面図を紹介する。

「御天守絵図」



(松平文庫(1361) 福井県立図書館保管)

「福井御城御天守八十分一図」

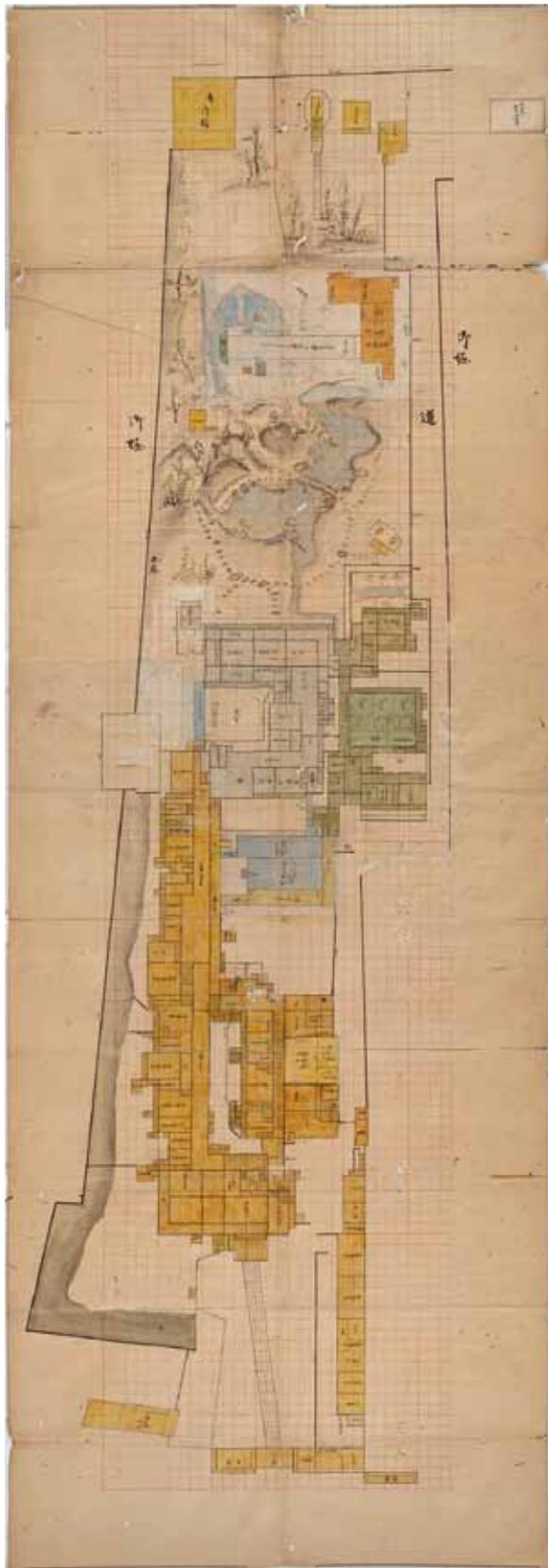


(福井工業大学蔵)

第 4 節 御座所について

この節では、松平文庫の御座所等指図3点の全体図と拡大図を比較する。
また、明治期の松平邸長屋門については、立面図や写真の他、絵葉書としてその
外観写真が多く残っており、その一部を紹介する。

「御座所御絵図 御作事所 弘化四年」

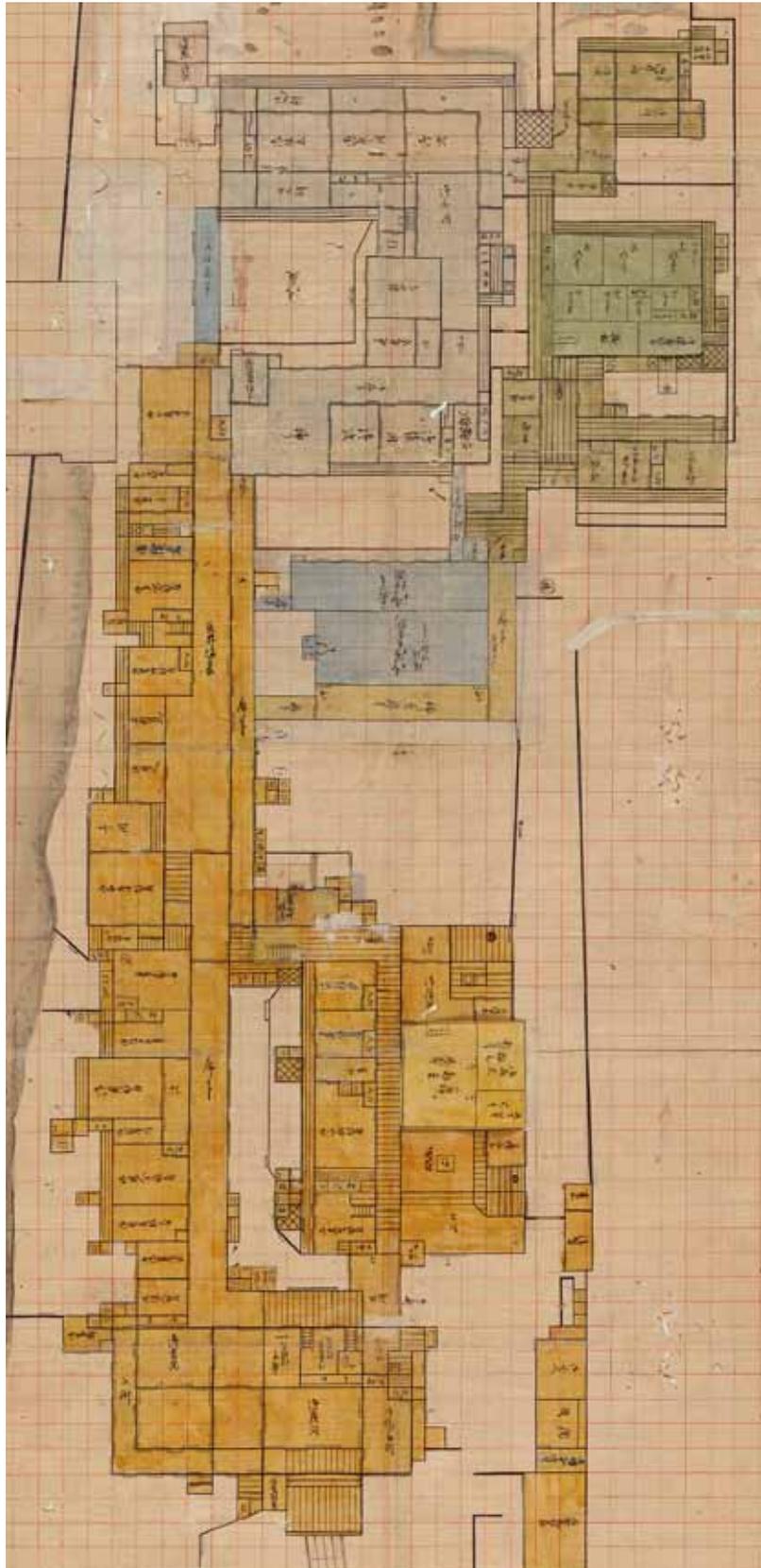


16代慶永は天保14年(1843)の初
入国に際し、御座所(藩主の住居)を本
丸から西三ノ丸に移した。本図は弘化4
年(1847)の年紀から、入国間もない慶
永の御座所の図であることがわかる。そ
の後この御座所は17代茂昭の時代、元
治元年(1864)に東三ノ丸へ新築移転す
るまで利用された。

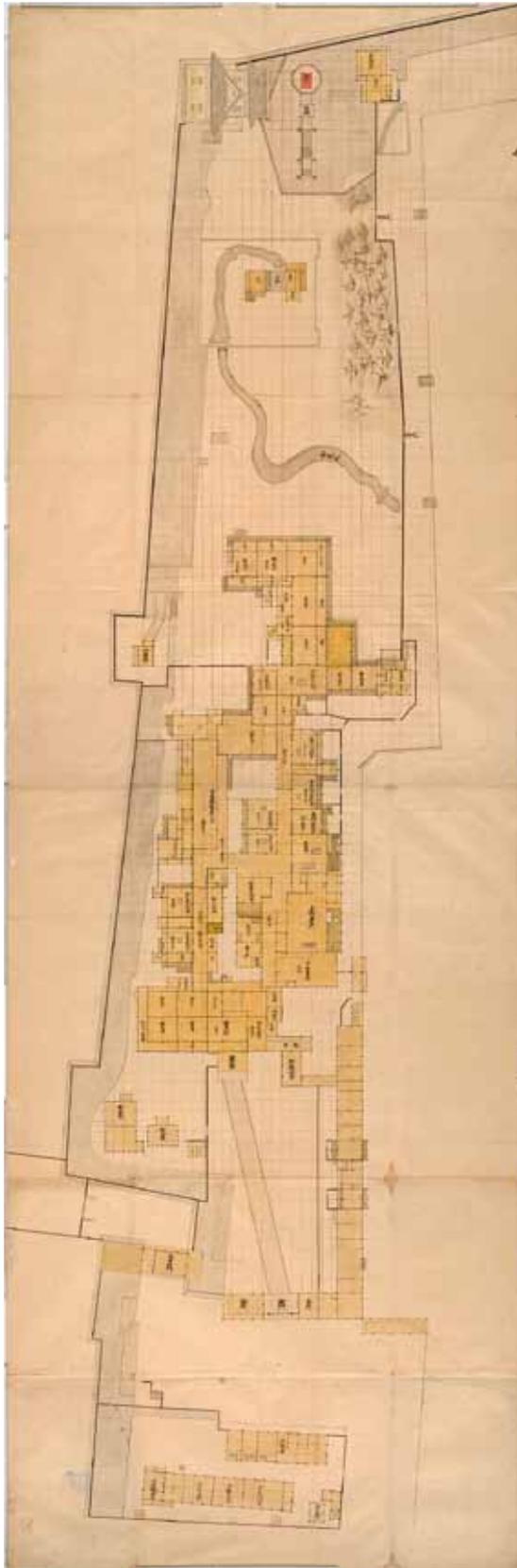
(松平文庫(1379) 福井県立図書館保管)

(75×216mm)

【拡大図】



「御座所絵図」

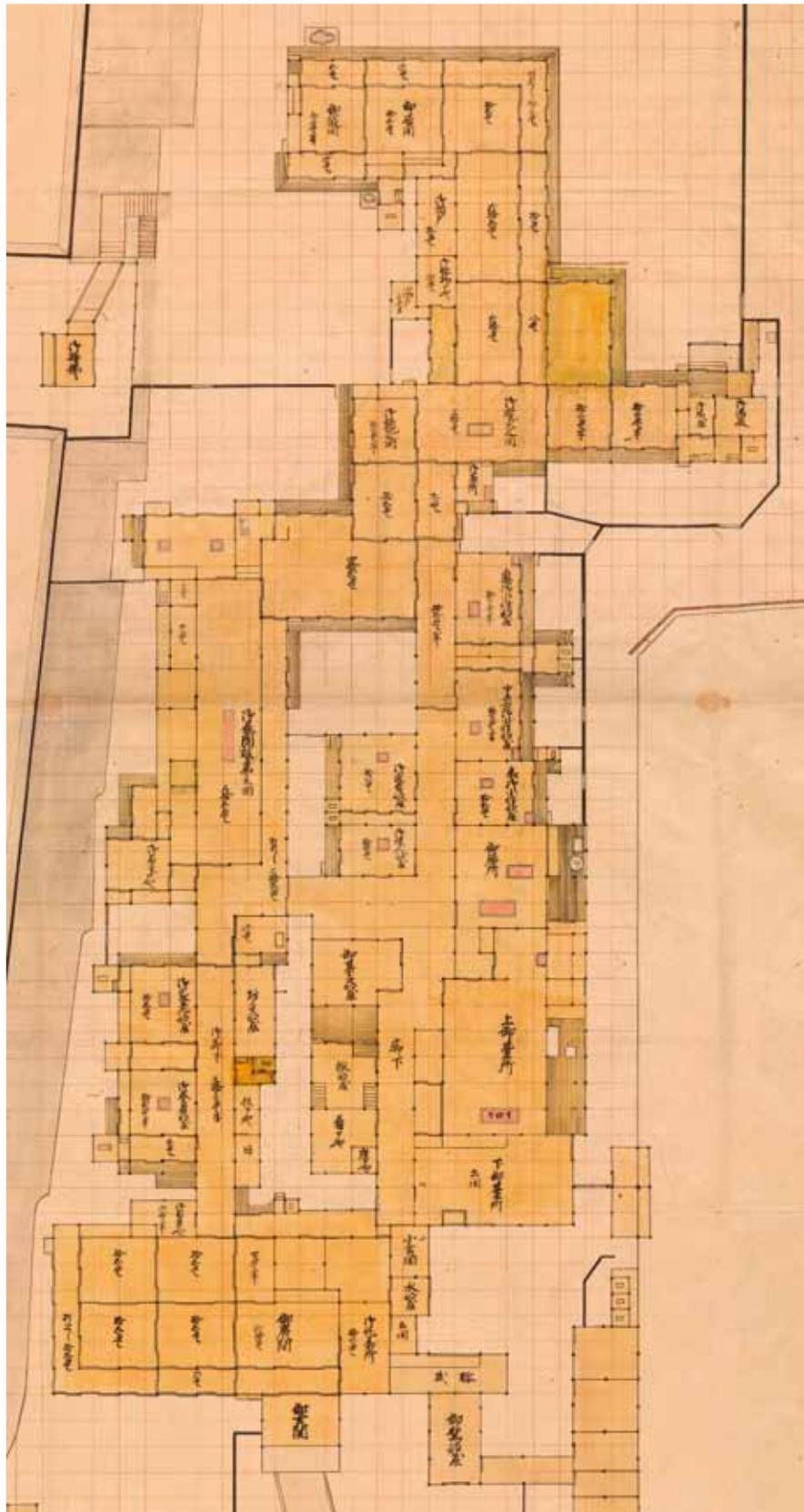


(松平文庫(1383) 福井県立図書館保管)

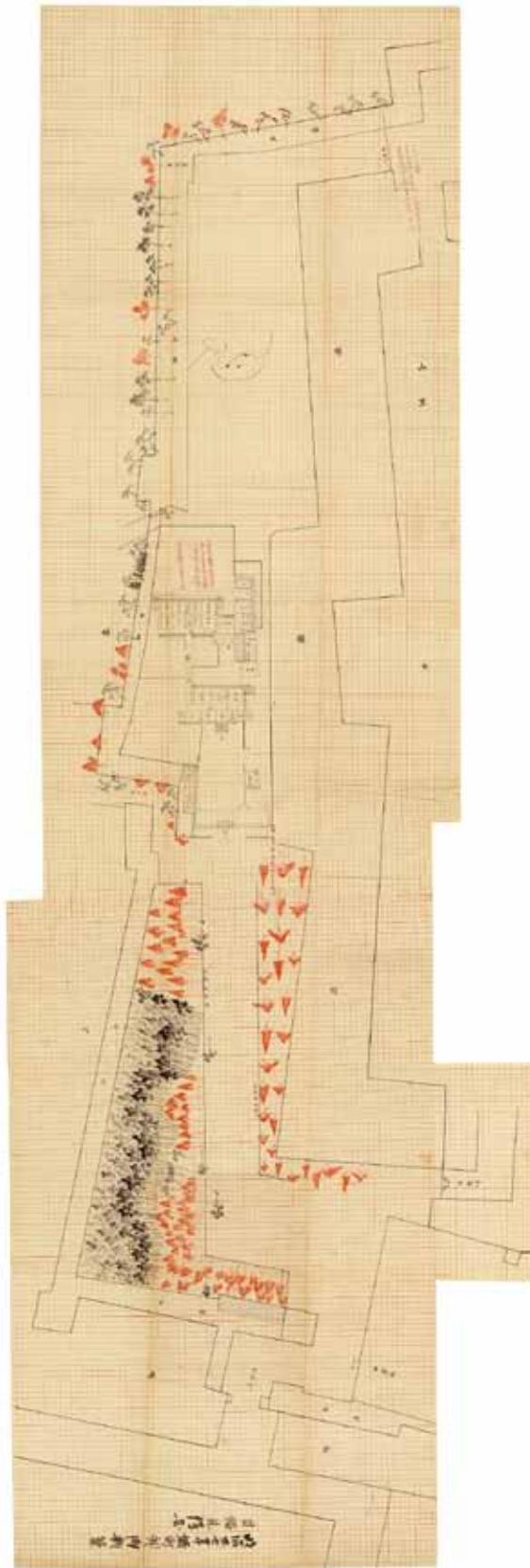
(77×238cm)

延宝3年(1675)5代昌親は、それまで本丸にあった御座所を西三の丸に移した。これ以後も御座所は西三の丸に置かれたが、文政13年(1830)14代斉承は、御座所を再び本丸に移した。したがって、年紀はないが、本図は文政13年本丸移転以前の御座所を示す図であることは間違いない。

【拡大図】



「城町邸御新築目論見絵図 明治二七年」

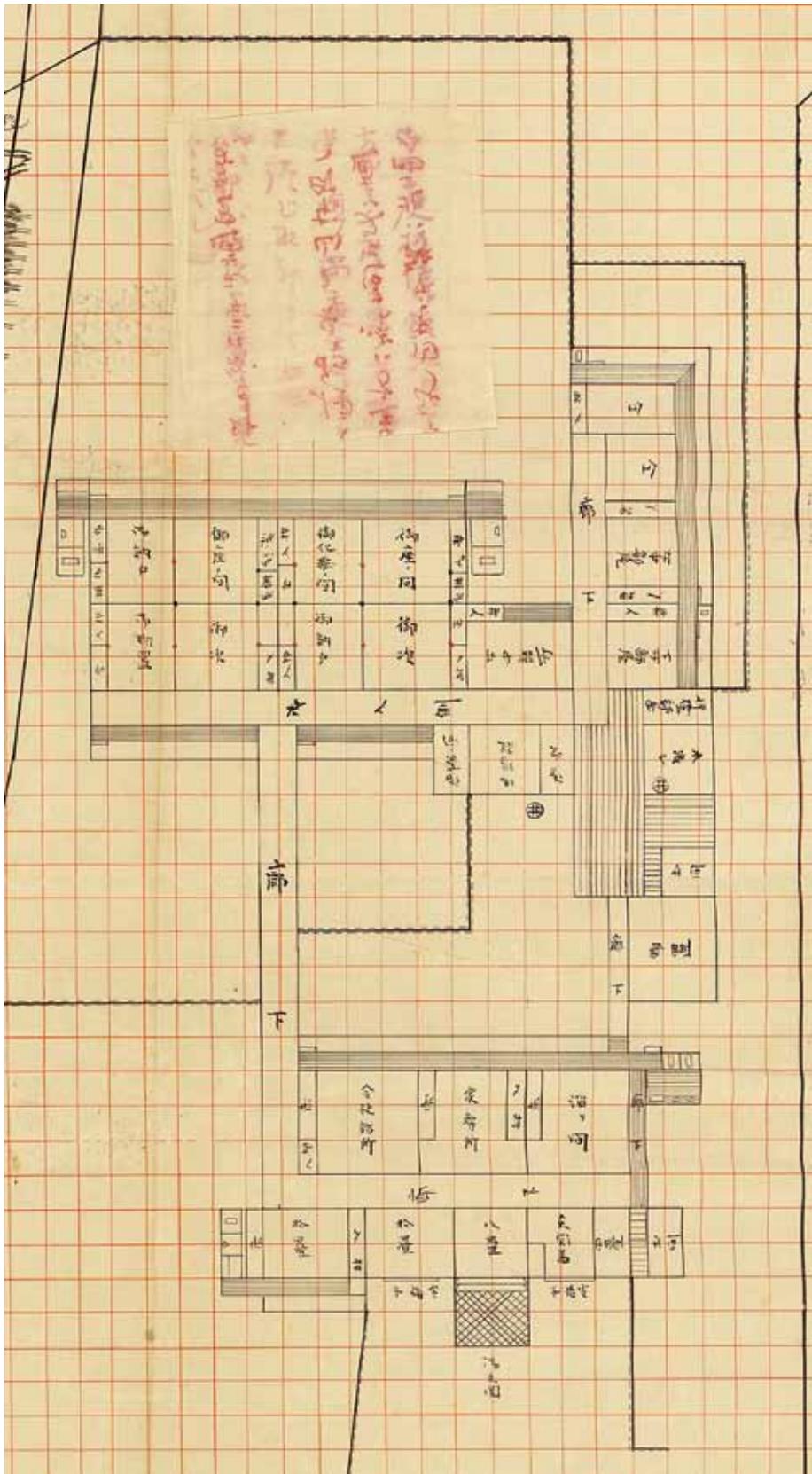


(松平文庫(1392) 福井県立図書館保管)

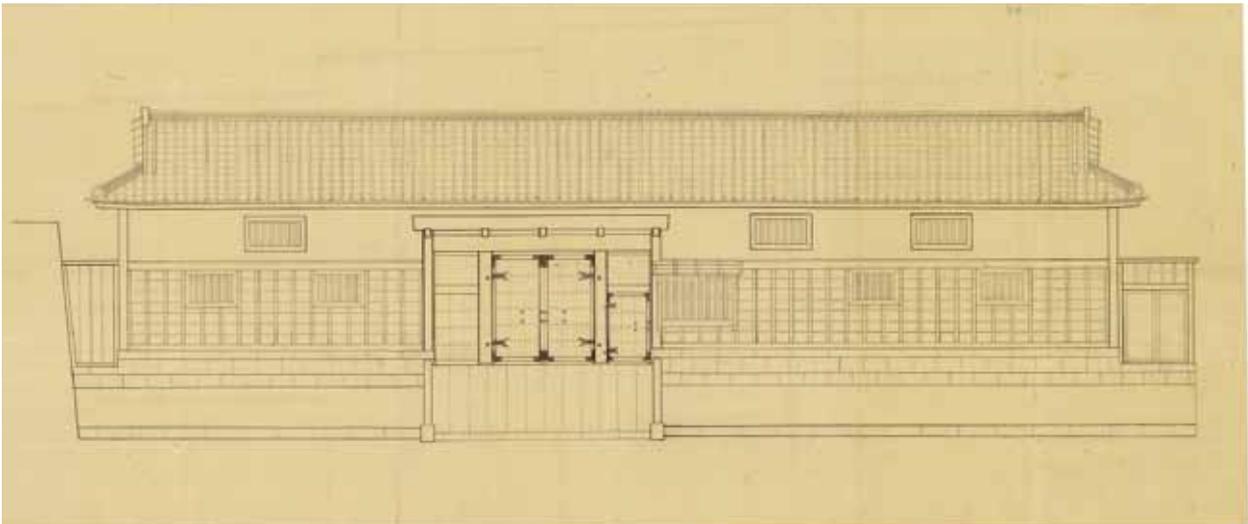
(80×240cm)

17代茂昭の子松平康莊は、旧城内で試農場を經營するため福井に移住し、明治28年(1895)かつての西三ノ丸御座所跡に邸宅を新築した。本図はその目論見図で、下馬門跡からの長いアプローチを持ち、門や建物が御座所時代と同じように配置されていることがわかる。

【拡大図】



明治期の松平邸長屋門



松平邸長屋門の正面図「福井表新築諸絵図 明治二八年」
(松平文庫(1394) 福井県立図書館保管)



松平邸長屋門『越山若水』(明治42年)
(福井市立郷土歴史博物館蔵)



同上(絵葉書『福井城内下馬門内の櫻』)
(福井県立歴史博物館蔵)

その他の史料



『福井城舊景』「御座所御玄関」（福井県立図書館蔵）

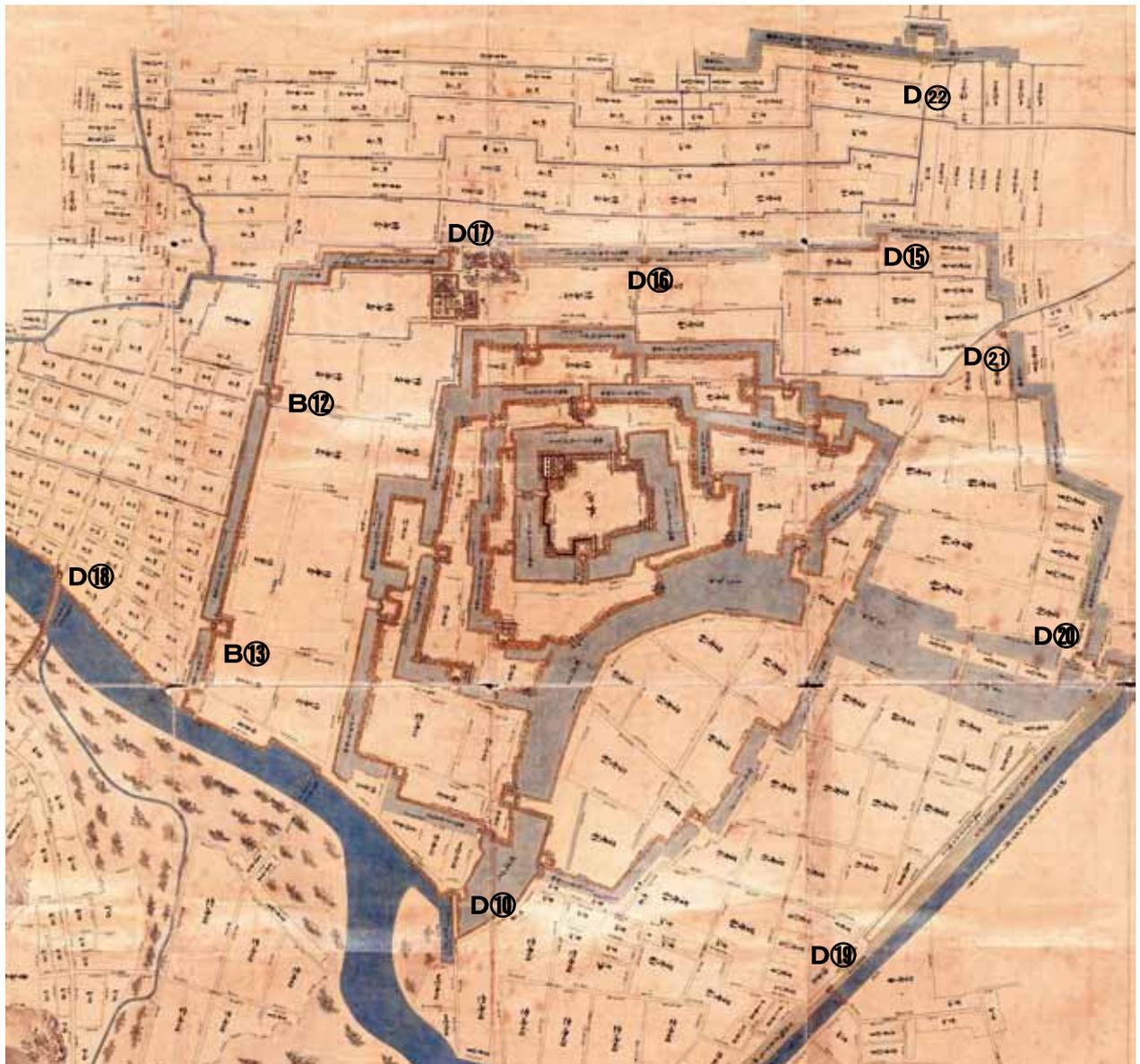
第5節 櫓・御門について

福井城下には10箇所櫓と40を超える門が存在していたが、この節では、第1節で紹介した城下絵図を用い、これらの櫓と御門を一覧に整理し、比較する。

また、御天守焼失後に三重櫓として再建され、福井城のシンボルとなっていた坤櫓と巽櫓について、詳細な史料や写真等を紹介する。

御門は大まかな規模により4種類に分類し、そのうち代表的な瓦御門、下馬御門・桜御門、山里口御門、中仕切御門について、詳細な史料や写真等を紹介する。





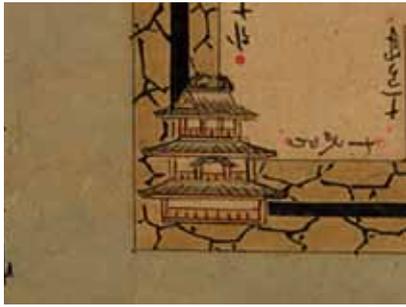
Y① 坤三重御櫓	Y② 巽三重御櫓	Y③ 北不明御門上良御櫓	Y④ 七ツ蔵角乾御櫓
Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓	Y⑥ 元御作事御櫓	Y⑦ 二之丸御櫓	Y⑧ 御座所内隅御櫓
Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓	Y⑩ 下馬御門内御櫓	A① 瓦御門	A② 御座所御門
B① 北不明御門	B② 太鼓御門	B③ 切手御門	B④ 七人番所御門
B⑤ 御座所脇南不明御門	B⑥ 下馬御門	B⑦ 鉄御門	B⑧ 漆御門
B⑨ 三之丸中御門	B⑩ 御鷹部屋口_高御門	B⑪ 清水御門	B⑫ 柳御門
B⑬ 桜御門	C① 山里口御門	C② 三之丸南_三崎御門	C③ 三之丸北御門
C④ 堂形_春ル秋キ御門	D① 山里奥御門	D② 南山里御門	D③ 中仕切御門
D④ 水車御門	D⑤ 御作事所口御門	D⑥ 川口御門	D⑦ 豊後_酒井脇御門
D⑧ 三之丸間之御門	D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門	D⑩ 御船虎谷_舟蔵御門	D⑪ 中之馬場南_桜木御門
D⑫ 中之馬場北_小桜御門	D⑬ 観音町口御門	D⑭ 元割場_人分ケ御門	D⑮ 不動院脇_佐久間御門
D⑯ 御泉水裏_舎人御門	D⑰ 神明脇_二丁掛御門	D⑱ 大橋_照手_葵御門	D⑲ 勝見口_手寄御門
D⑳ 竹ヶ端_日之出御門	D㉑ 地蔵町口_奥平御門	D㉒ 加賀口_新田御門	

※櫓・御門の名称は、「御門御櫓之部(松平文庫(655))」に従ったが、一部省略など変更したものもある

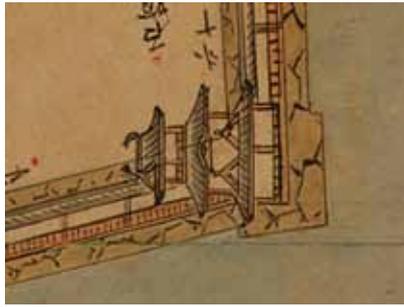
代表的な城下絵図の拡大による比較

○「御城下之図 貞享二年」(1322)

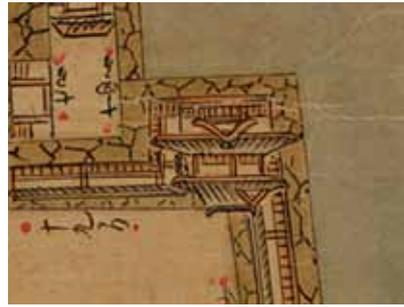
櫓



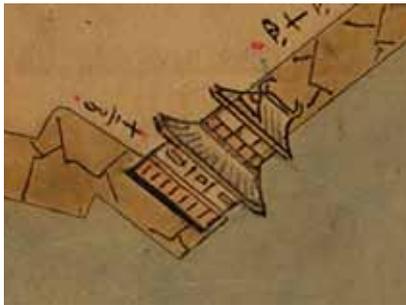
Y① 坤三重御櫓



Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



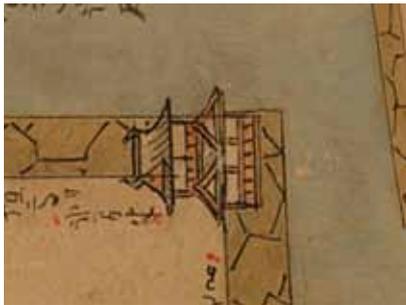
Y④ 七ツ蔵角乾御櫓



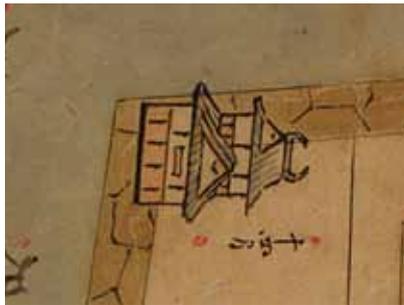
Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓



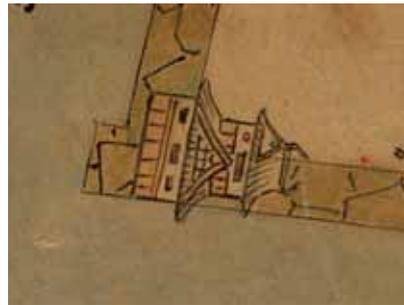
Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓

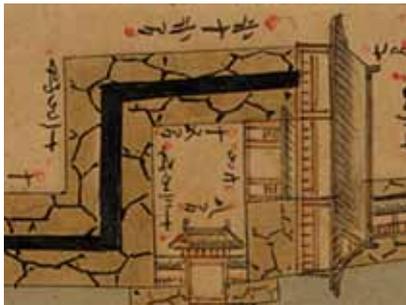


Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

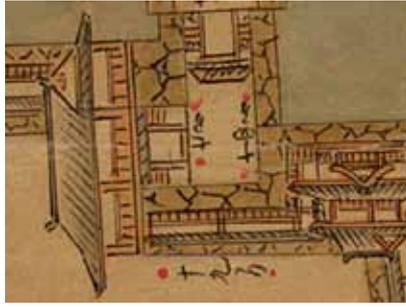


A① 瓦御門



A② 御座所御門 (記載なし)

主要な門



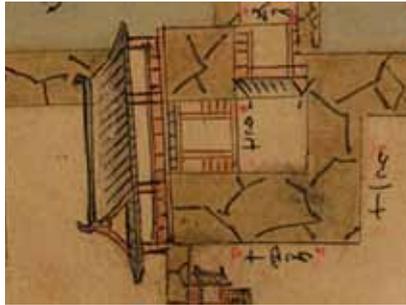
B① 北不明御門



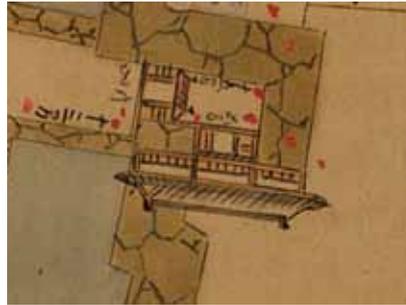
B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



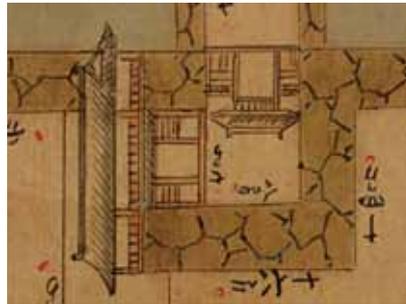
B⑧ 漆御門



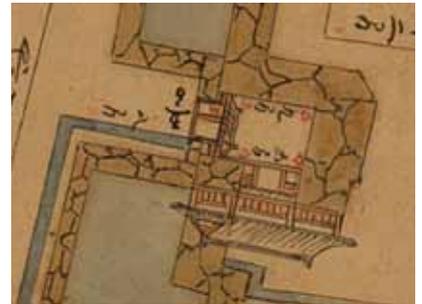
B⑨ 三之丸中御門



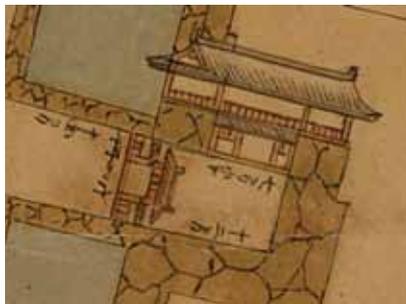
B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

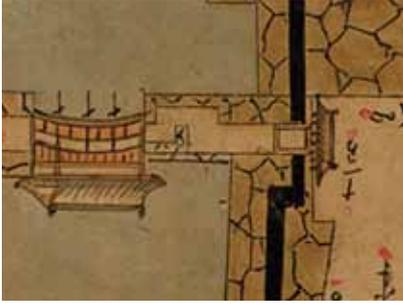


B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門

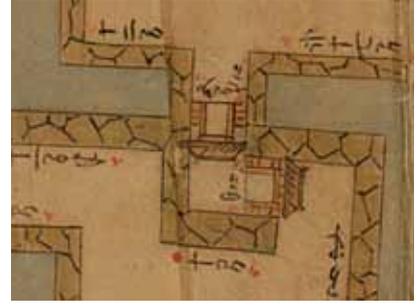
中規模の門



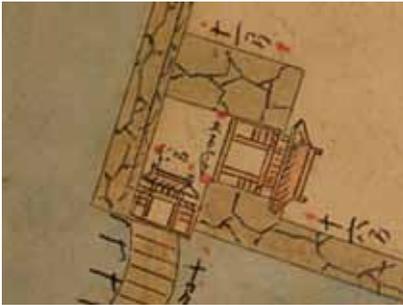
C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門

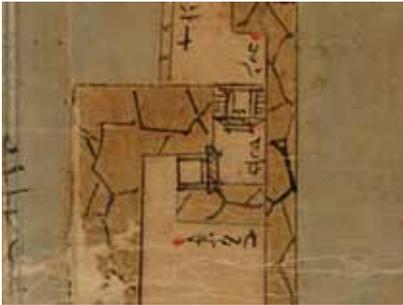


C③ 三之丸北御門

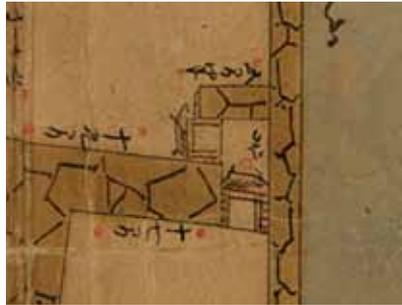


C④ 堂形_春ル秋キ御門

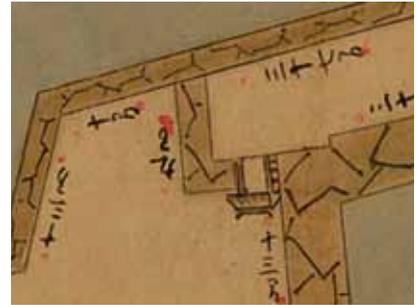
小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



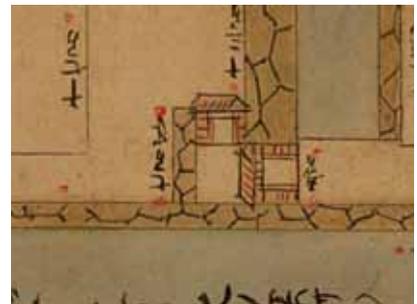
D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

小規模の門



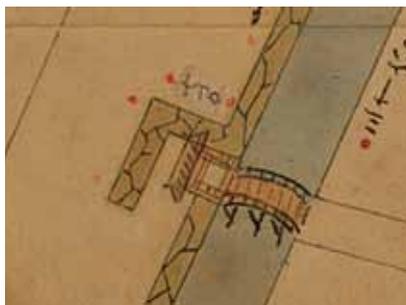
D10 御船虎谷_舟蔵御門



D11 中之馬場南_桜木御門



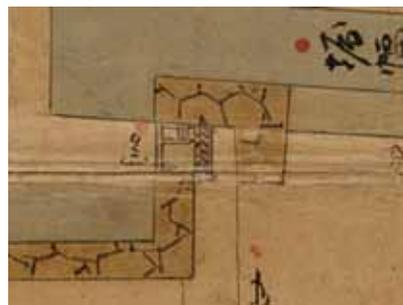
D12 中之馬場北_小桜御門



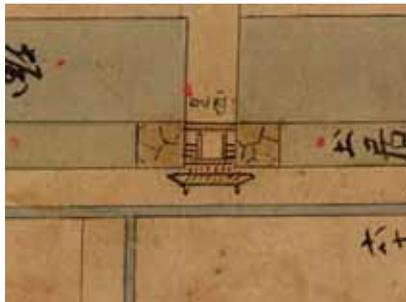
D13 観音町口御門



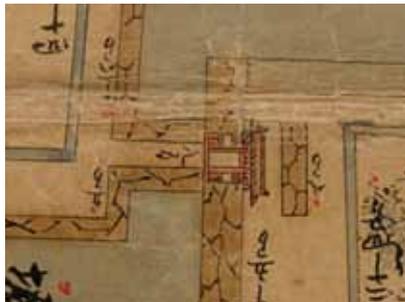
D14 元割場_人分ヶ御門



D15 不動院脇_佐久間御門



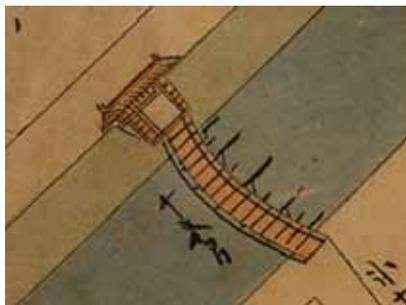
D16 御泉水裏_舎人御門



D17 神明脇_二丁掛御門



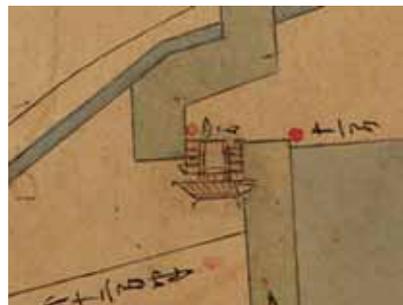
D18 大橋_照手_葵御門



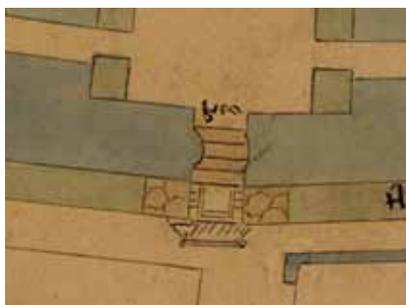
D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



D21 地蔵町口_奥平御門



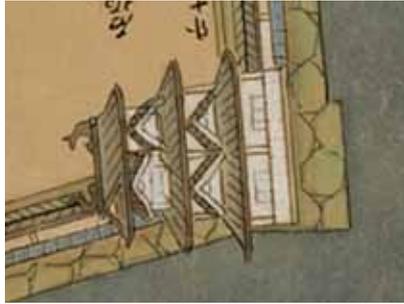
D22 加賀口_新田御門

○「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)

櫓



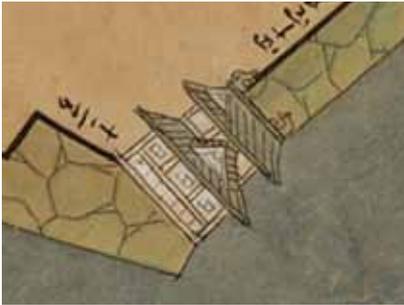
Y①坤三重御櫓



Y②巽三重御櫓



Y③北不明御門上艮御櫓



Y④七ツ葺角乾御櫓



Y⑤御厩角弁慶_信玄御櫓



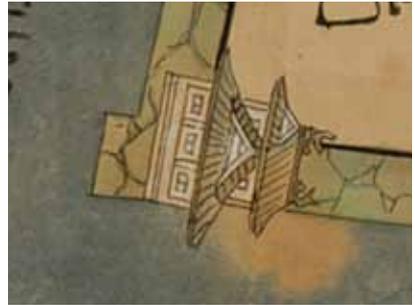
Y⑥元御作事御櫓



Y⑦二之丸御櫓



Y⑧御座所内隅御櫓

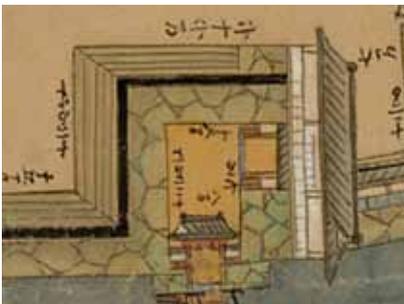


Y⑨鉄御門内着到_人見御櫓



Y⑩下馬御門内御櫓

最大規模の門

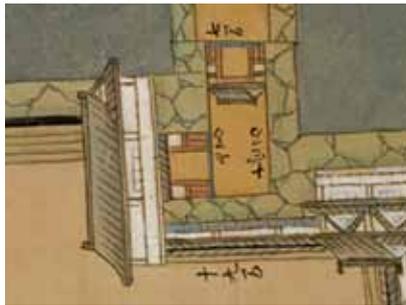


A①瓦御門



A②御座所御門 (記載なし)

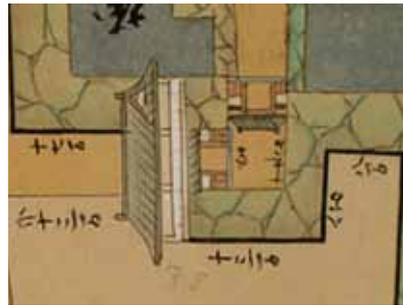
主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



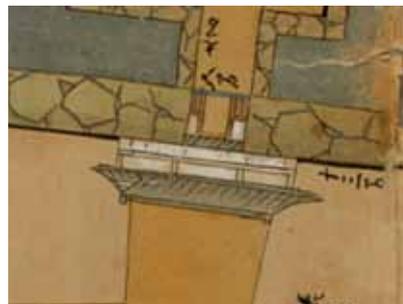
B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



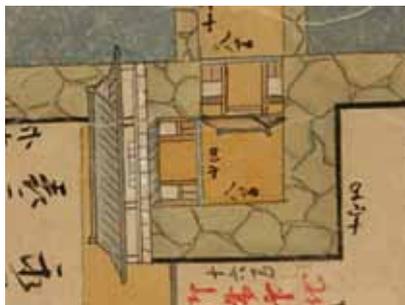
B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

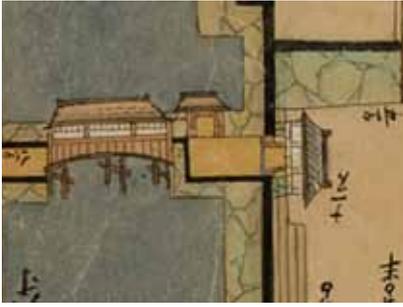


B⑫ 柳御門

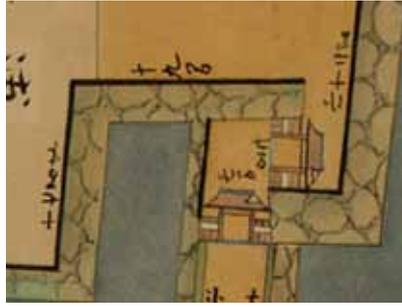


B⑬ 桜御門

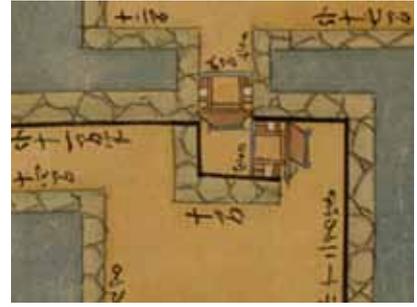
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門



C③ 三之丸北御門



C④ 堂形_春ル秋キ御門

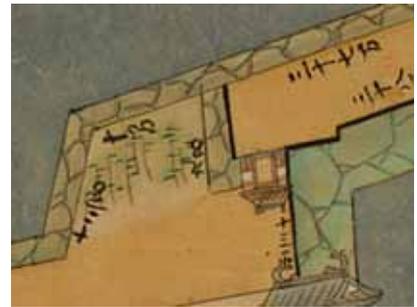
小規模の門



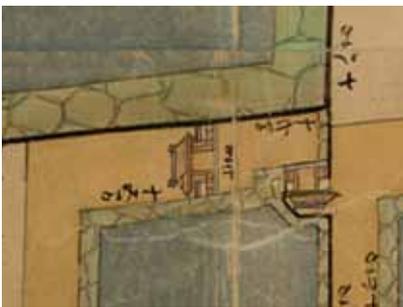
D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

小規模の門



D10 御船虎谷_舟蔵御門



D11 中之馬場南_桜木御門



D12 中之馬場北_小桜御門



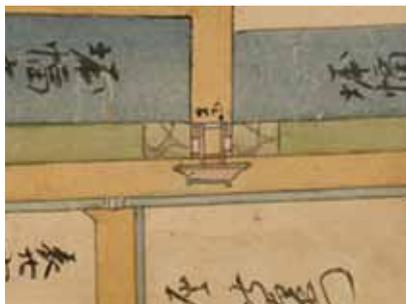
D13 観音町口御門



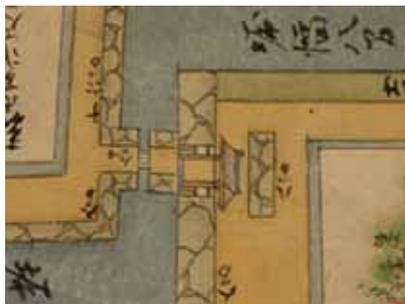
D14 元割場_人分ヶ御門



D15 不動院脇_佐久間御門



D16 御泉水裏_舎人御門



D17 神明脇_二丁掛御門



D18 大橋_照手_葵御門



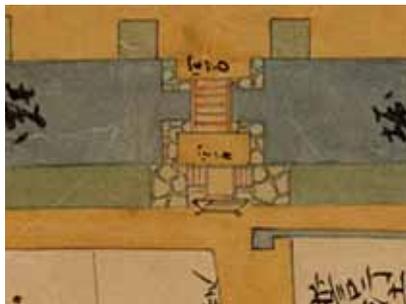
D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



D21 地蔵町口_奥平御門



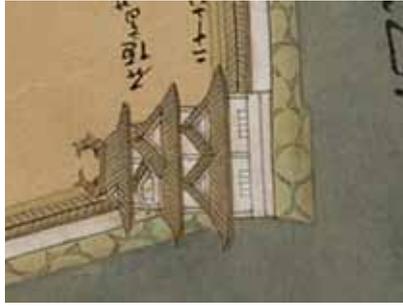
D22 加賀口_新田御門

○「御城下之絵図 正徳四年」(1325)

櫓



Y① 坤三重御櫓



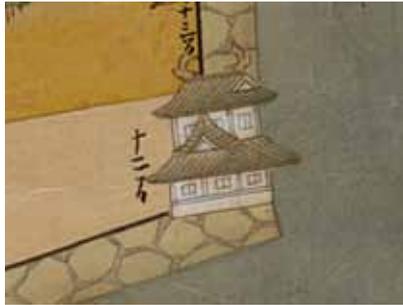
Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ セツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓



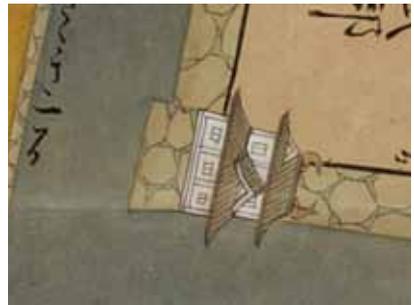
Y⑥ 元御作事御櫓



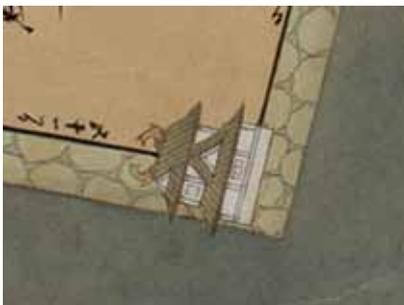
Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓

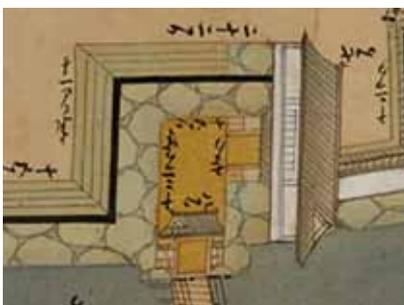


Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓

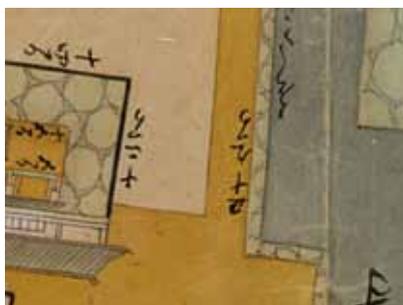


Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

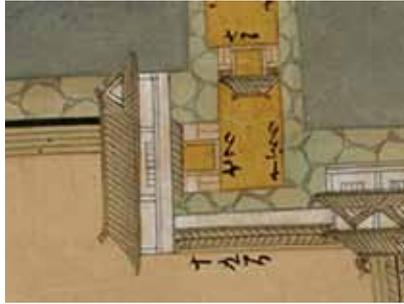


A① 瓦御門

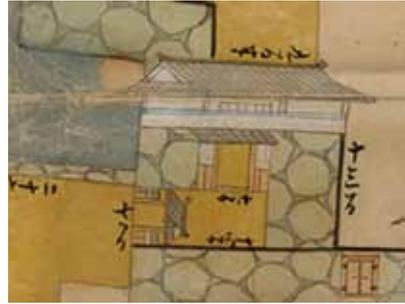


A② 御座所御門 (記載なし)

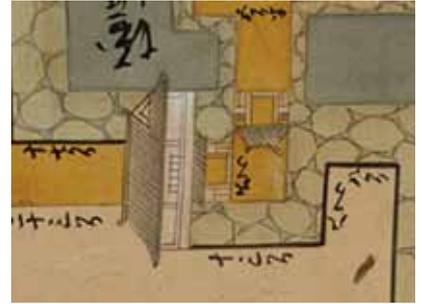
主要な門



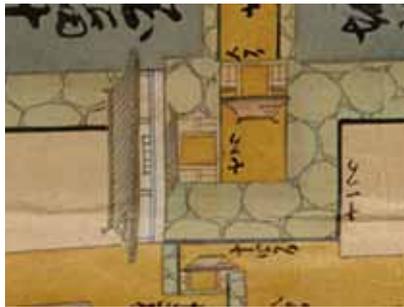
B① 北不明御門



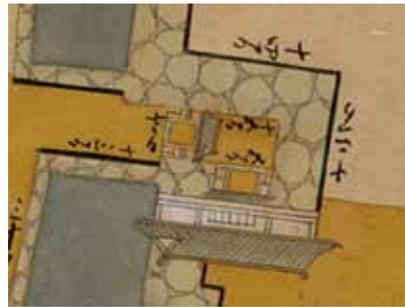
B② 太鼓御門



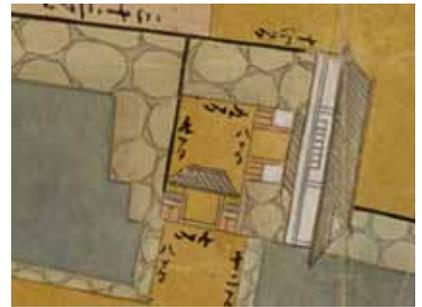
B③ 切手御門



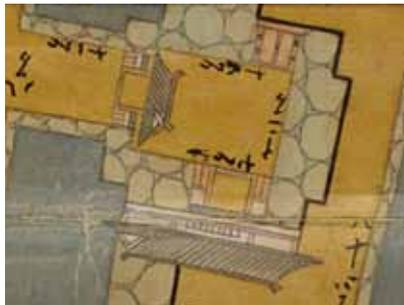
B④ 七人番所御門



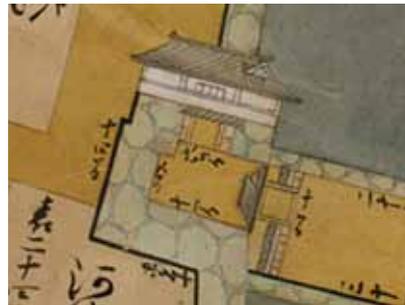
B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



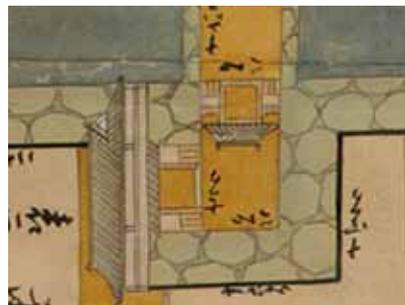
B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

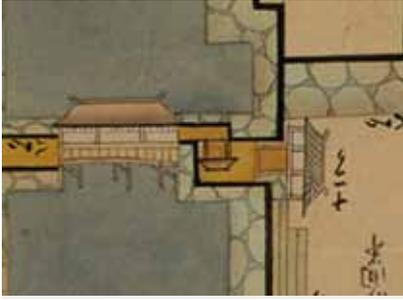


B⑫ 柳御門

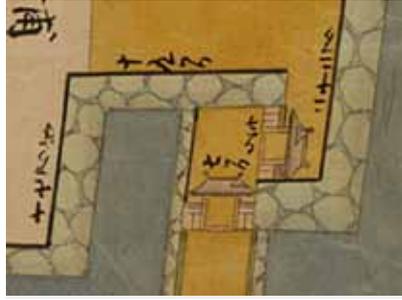


B⑬ 桜御門

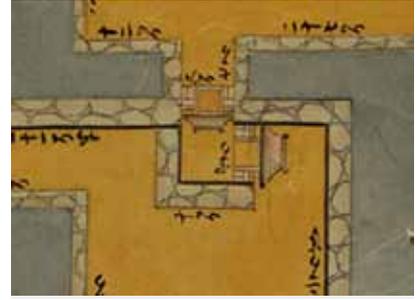
中規模の門



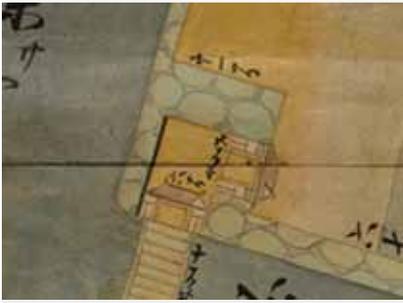
C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門

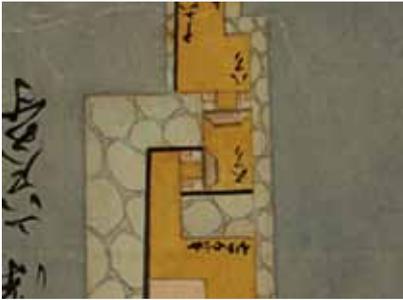


C③ 三之丸北御門

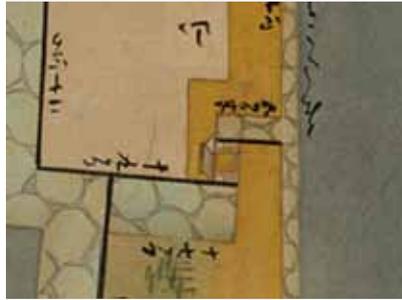


C④ 堂形_春ル秋キ御門

小規模の門



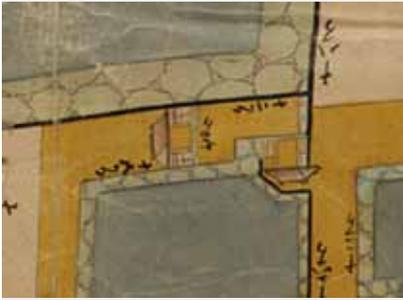
D① 山里奥御門



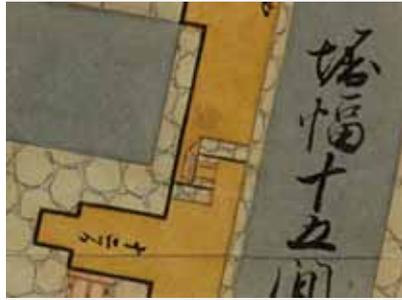
D② 南山里御門



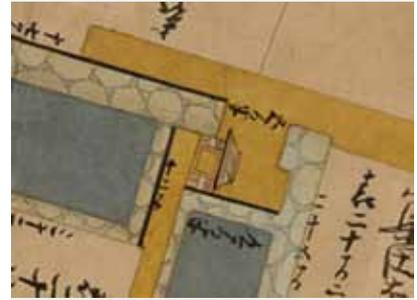
D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



D10 御船虎谷_舟蔵御門



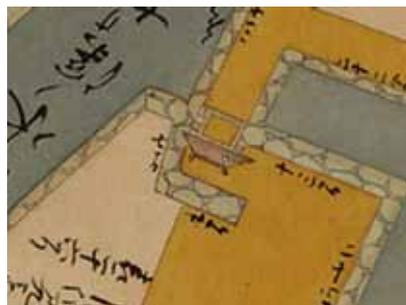
D11 中之馬場南_桜木御門



D12 中之馬場北_小桜御門



D13 観音町口御門



D14 元割場_人分ヶ御門



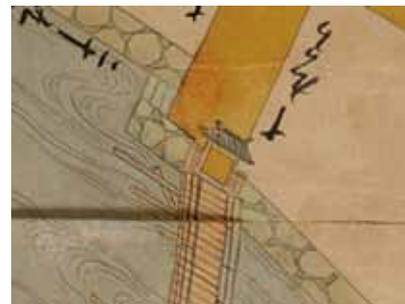
D15 不動院脇_佐久間御門



D16 御泉水裏_舎人御門



D17 神明脇_二丁掛御門



D18 大橋_照手_葵御門



D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



D21 地蔵町口_奥平御門



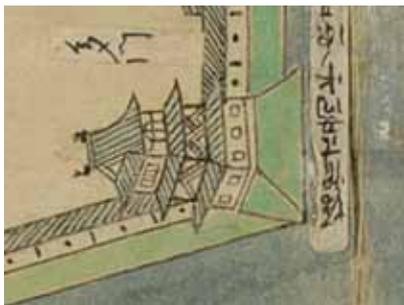
D22 加賀口_新田御門

○「御城下絵図 安永四年」(1336)

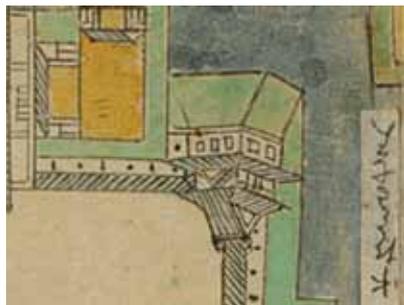
櫓



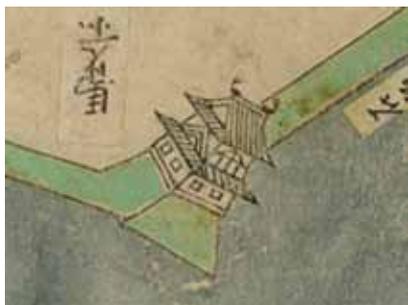
Y① 坤三重御櫓



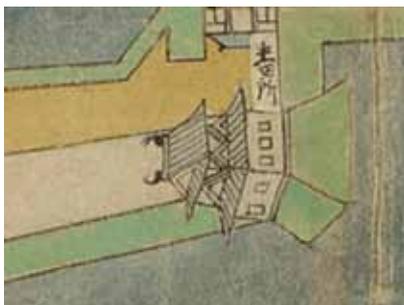
Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



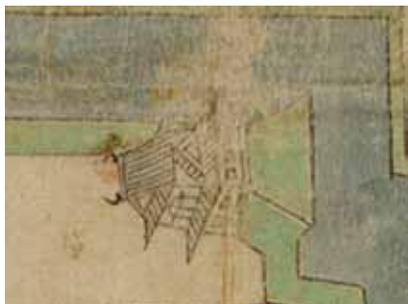
Y④ 七ツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓



Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

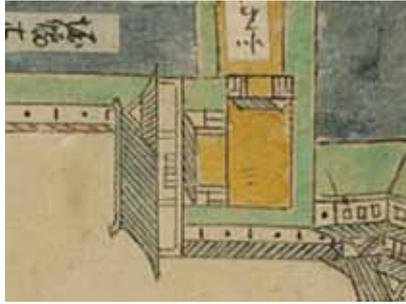


A① 瓦御門



A② 御座所御門

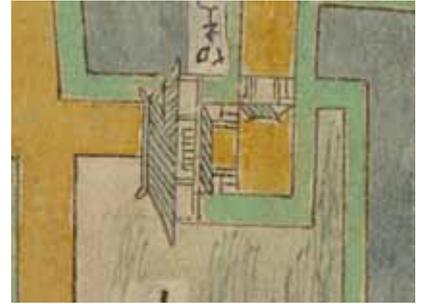
主要な門



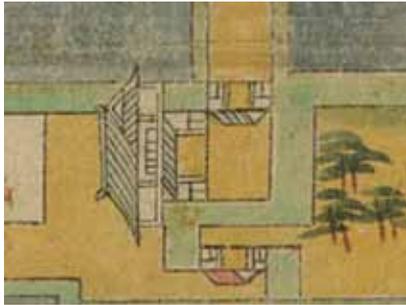
B① 北不明御門



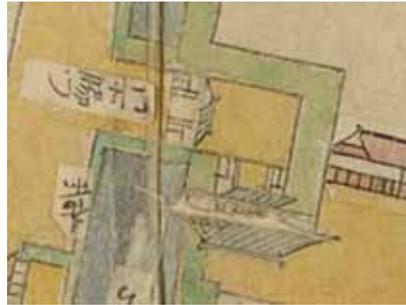
B② 太鼓御門



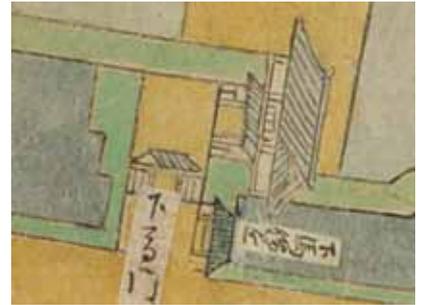
B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



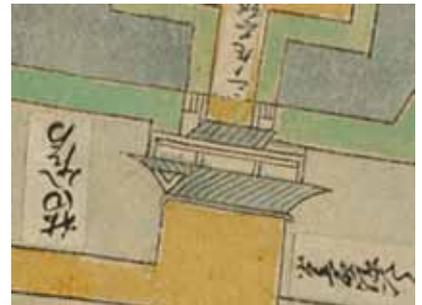
B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

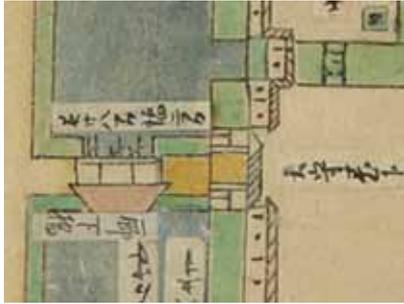


B⑫ 柳御門

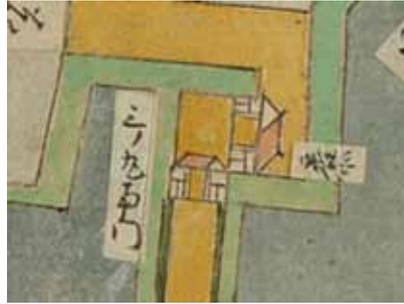


B⑬ 桜御門

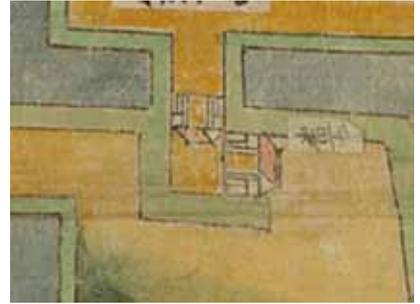
中規模の門



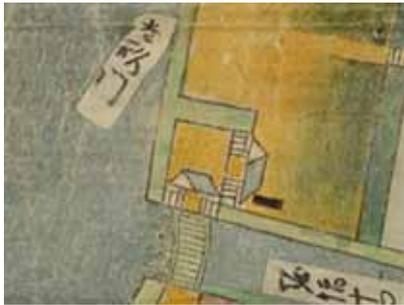
C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門

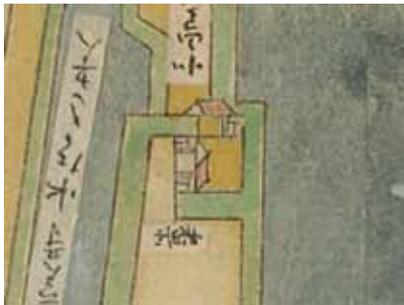


C③ 三之丸北御門



C④ 堂形_春ル秋キ御門

小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



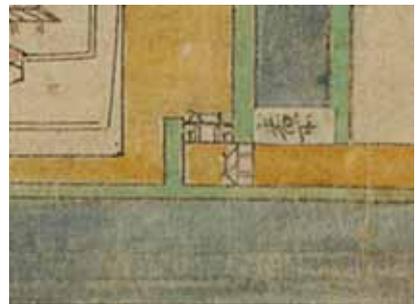
D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門



D10 御船虎谷_舟蔵御門



D11 中之馬場南_桜木御門



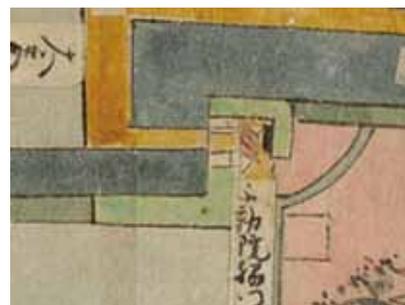
D12 中之馬場北_小桜御門



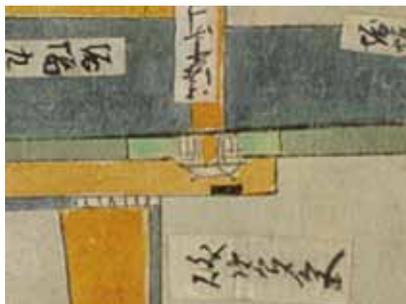
D13 観音町口御門



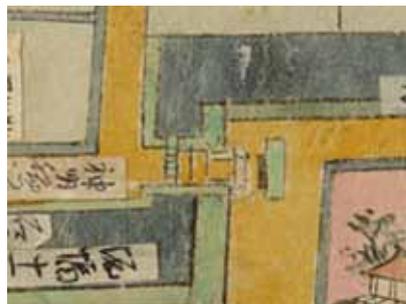
D14 元割場_人分ヶ御門



D15 不動院脇_佐久間御門



D16 御泉水裏_舎人御門



D17 神明脇_二丁掛御門



D18 大橋_照手_葵御門



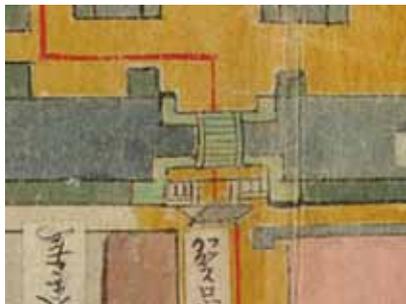
D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



D21 地蔵町口_奥平御門



D22 加賀口_新田御門

○「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)

櫓



Y① 坤三重御櫓



Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



Y④ セツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓



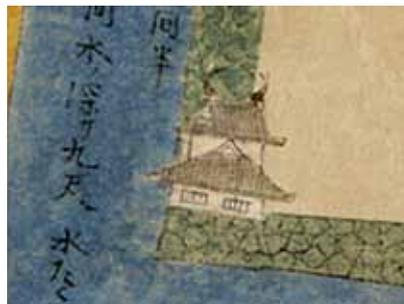
Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓



Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門



A① 瓦御門



A② 御座所御門

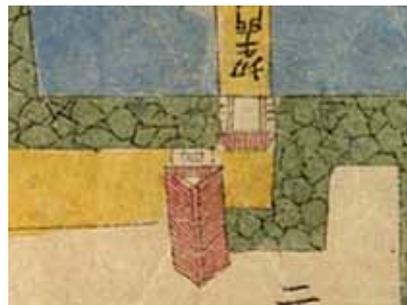
主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



B⑥ 下馬御門



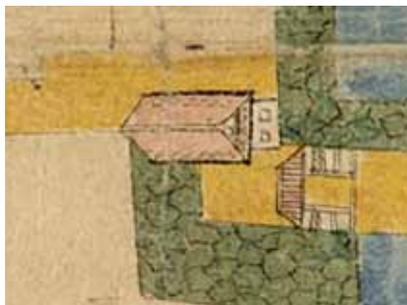
B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



B⑨ 三之丸中御門



B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

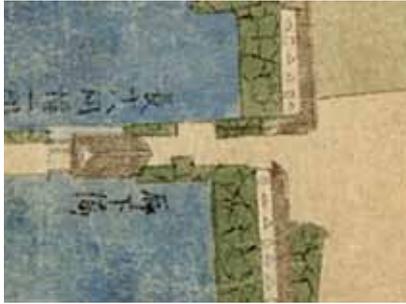


B⑫ 柳御門



B⑬ 桜御門

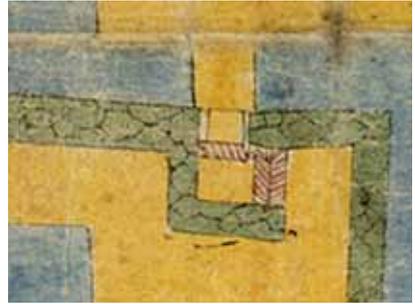
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門



C③ 三之丸北御門



C④ 堂形_春ル秋キ御門

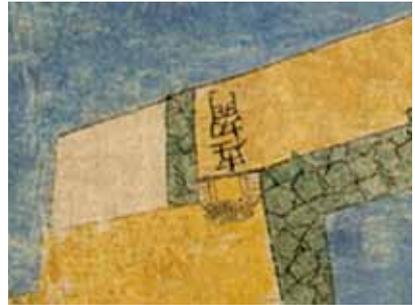
小規模の門



D① 山里奥御門



D② 南山里御門



D③ 中仕切御門



D④ 水車御門



D⑤ 御作事所口御門



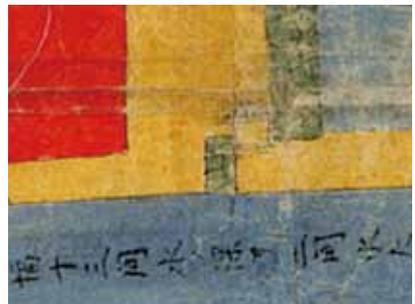
D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

小規模の門



D10 御船虎谷_舟蔵御門



D11 中之馬場南_桜木御門



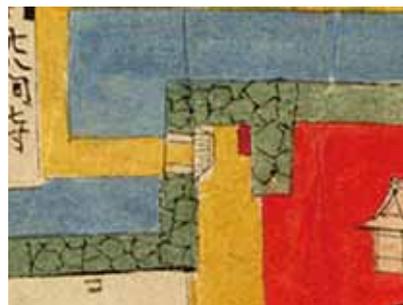
D12 中之馬場北_小桜御門



D13 観音町口御門



D14 元割場_人分ヶ御門



D15 不動院脇_佐久間御門



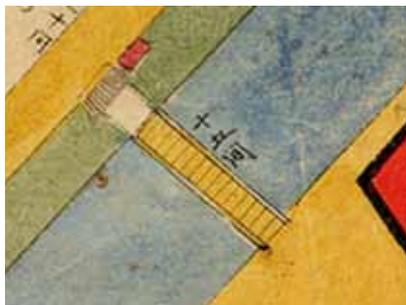
D16 御泉水裏_舎人御門



D17 神明脇_二丁掛御門



D18 大橋_照手_葵御門



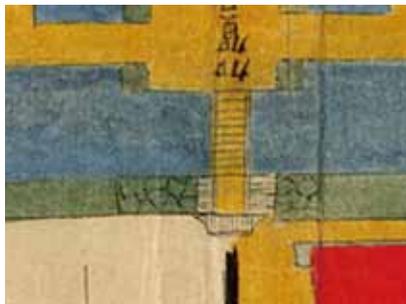
D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



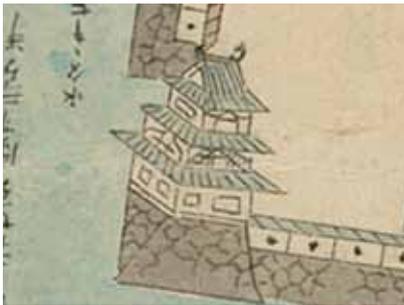
D21 地蔵町口_奥平御門



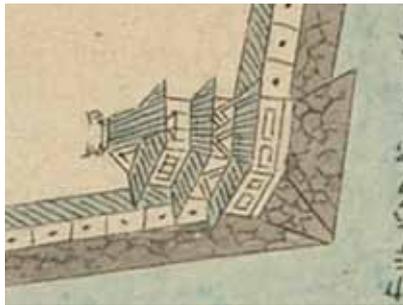
D22 加賀口_新田御門

○「御城下之図」(1342)

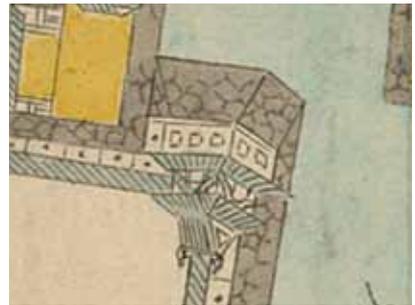
櫓



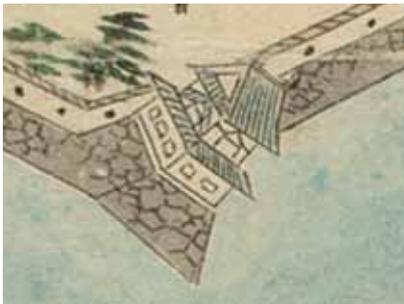
Y① 坤三重御櫓



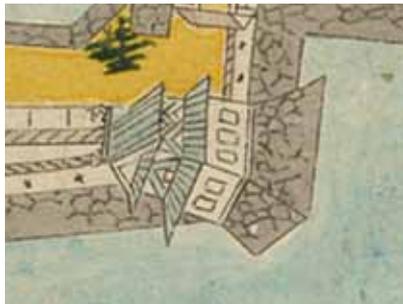
Y② 巽三重御櫓



Y③ 北不明御門上良御櫓



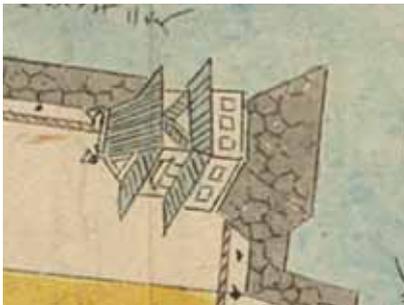
Y④ セツ蔵角乾御櫓



Y⑤ 御厩角弁慶_信玄御櫓



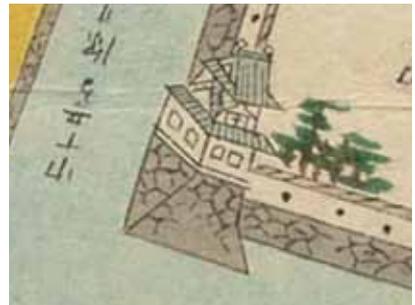
Y⑥ 元御作事御櫓



Y⑦ 二之丸御櫓



Y⑧ 御座所内隅御櫓



Y⑨ 鉄御門内着到_人見御櫓

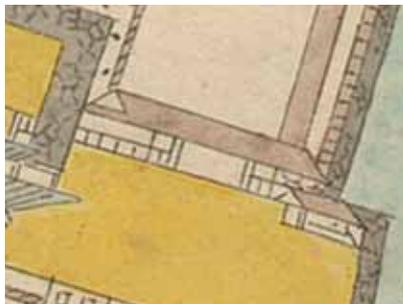


Y⑩ 下馬御門内御櫓

最大規模の門

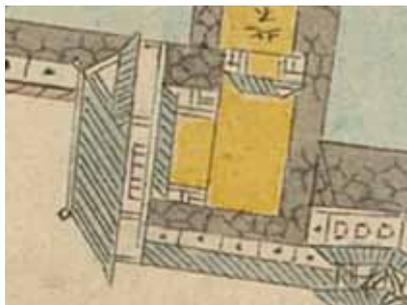


A① 瓦御門



A② 御座所御門

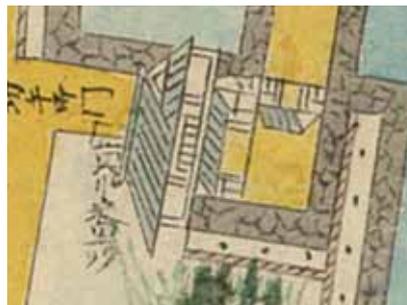
主要な門



B① 北不明御門



B② 太鼓御門



B③ 切手御門



B④ 七人番所御門



B⑤ 御座所脇南不明御門



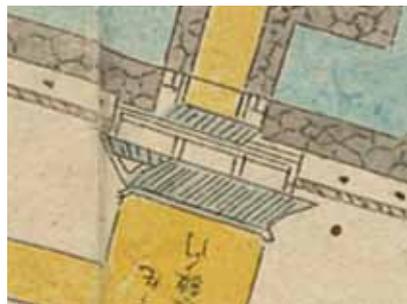
B⑥ 下馬御門



B⑦ 鉄御門



B⑧ 漆御門



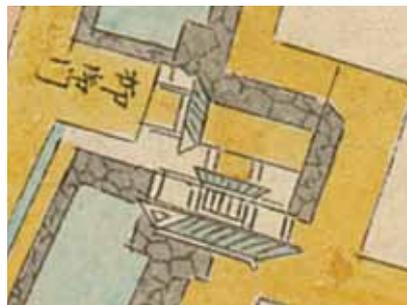
B⑨ 三之丸中御門



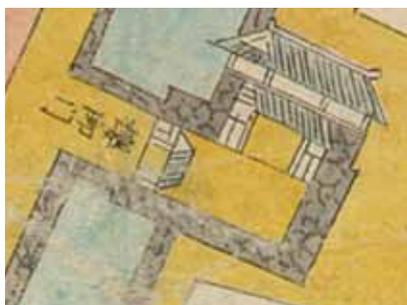
B⑩ 御鷹部屋口_高御門



B⑪ 清水御門

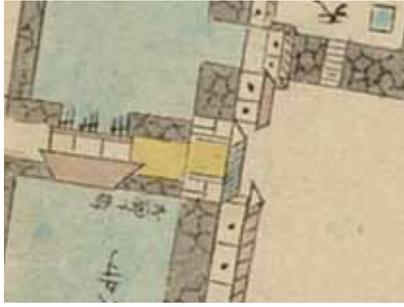


B⑫ 柳御門

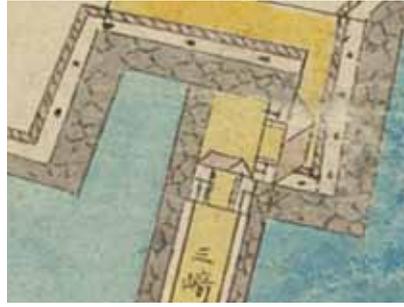


B⑬ 桜御門

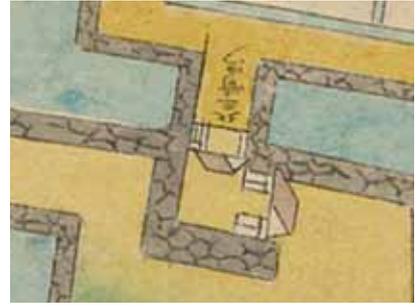
中規模の門



C① 山里口御門



C② 三之丸南_三崎御門



C③ 三之丸北御門



C④ 堂形_春ル秋キ御門

小規模の門



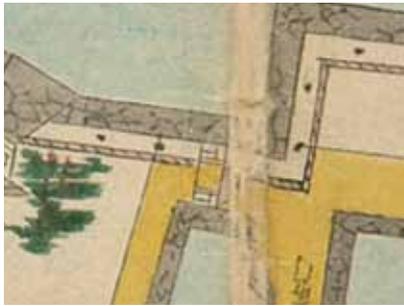
D① 山里奥御門



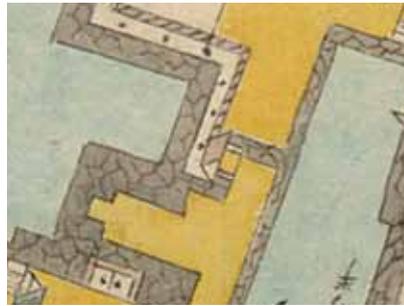
D② 南山里御門



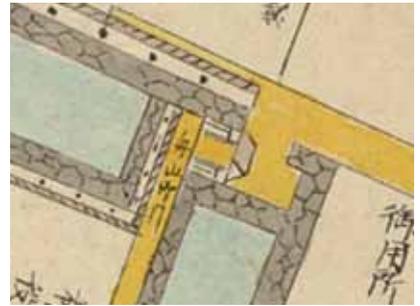
D③ 中仕切御門



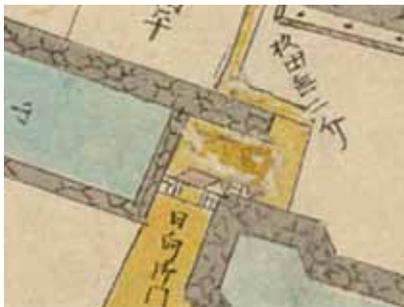
D④ 水車御門



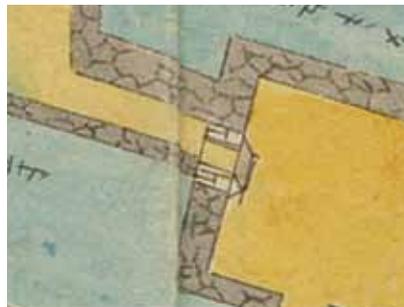
D⑤ 御作事所口御門



D⑥ 川口御門



D⑦ 豊後_酒井脇御門



D⑧ 三之丸間之御門



D⑨ 御鷹部屋内御宮脇御門

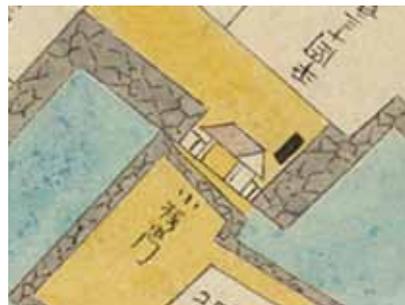
小規模の門



D10 御船虎谷_舟蔵御門



D11 中之馬場南_桜木御門



D12 中之馬場北_小桜御門



D13 観音町口御門



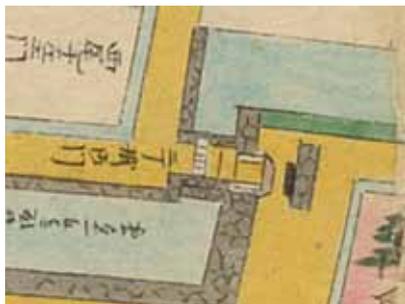
D14 元割場_人分ヶ御門



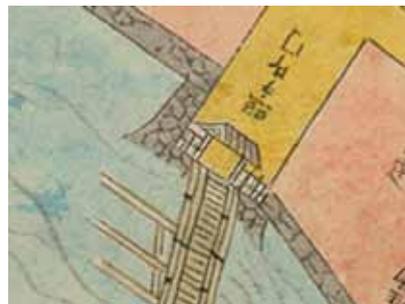
D15 不動院脇_佐久間御門



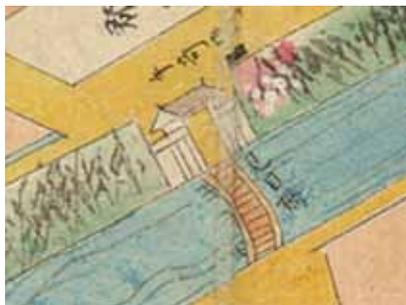
D16 御泉水裏_舎人御門



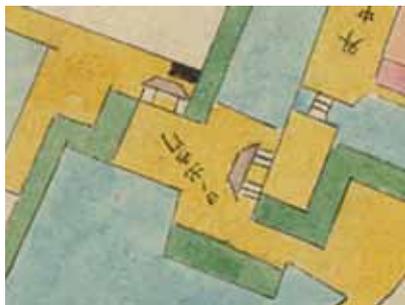
D17 神明脇_二丁掛御門



D18 大橋_照手_葵御門



D19 勝見口_手寄御門



D20 竹ヶ端_日之出御門



D21 地蔵町口_奥平御門



D22 加賀口_新田御門

坤櫓の詳細

代表的な城下絵図〔松平文庫蔵(福井県立図書館保管)〕拡大図



〔御城下之図 貞享二年〕(1322)



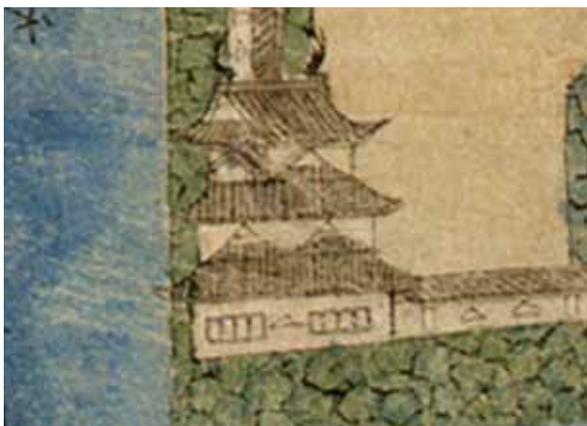
〔福居御城下絵図 貞享二年〕(1320)



〔御城下之絵図 正徳四年〕(1325)



〔御城下絵図 安永四年〕(1336)



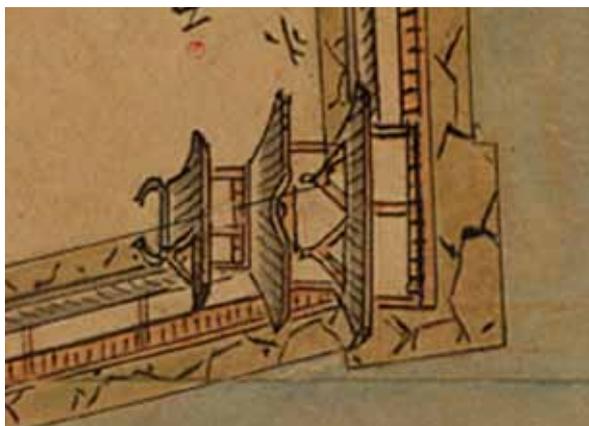
〔福井分間之図 中村清綿 文化八年〕(1340)



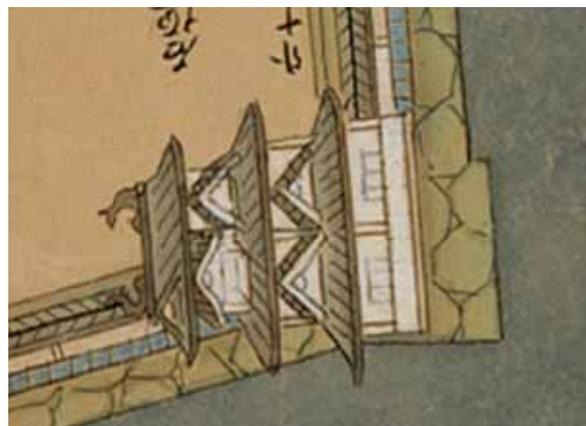
〔御城下之図〕(1342)

異櫓の詳細

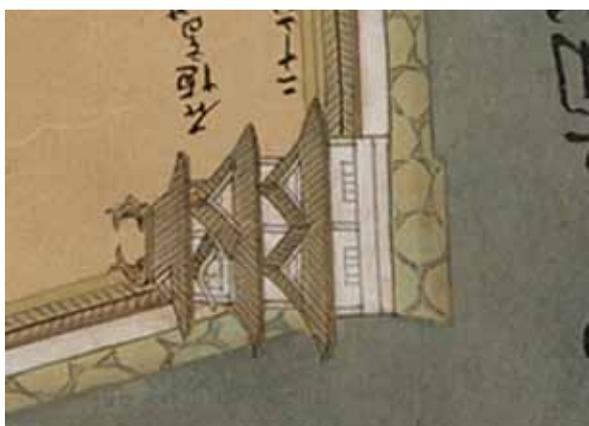
代表的な城下絵図 拡大図



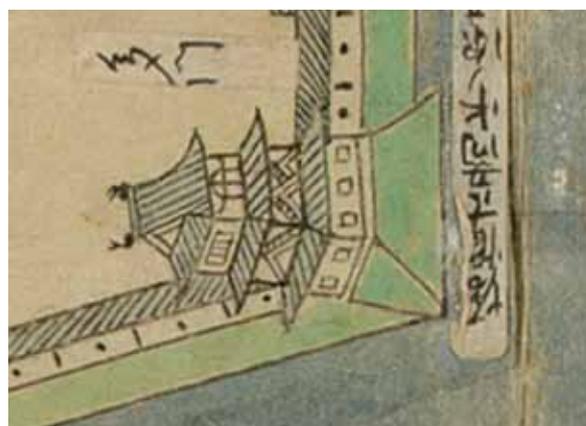
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



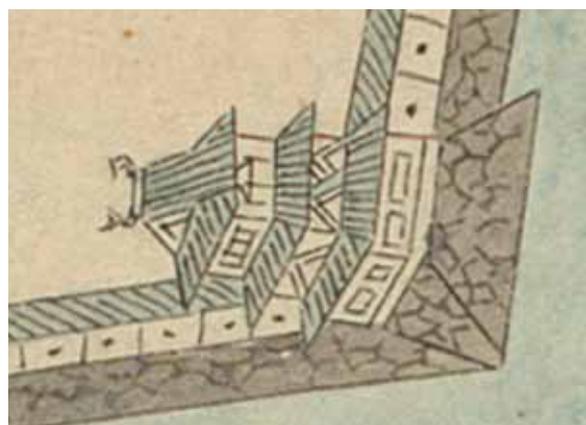
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

坤櫓・巽櫓の詳細《その他の史料》

写真等に残る外観



『福井城舊景』
「御本城橋之図」坤櫓 拡大図
(福井県立図書館保管)



『福井城舊景』
「御武具土蔵御天守台一見之図」坤櫓 拡大図



『福井温故帖』
「本丸登城之図」坤櫓 拡大図
(越葵文庫)



『福井城舊景』
「御本城橋之図」巽櫓 拡大図



『福井温故帖』
「本丸登城之図」巽櫓 拡大図

坤櫓・巽櫓の詳細《その他の史料》

写真等に残る外観



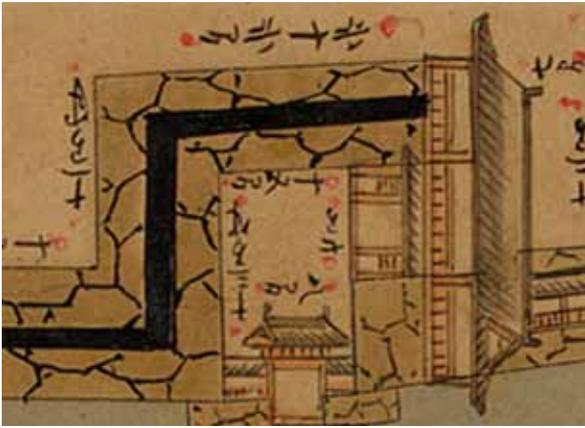
〔『福井温故帖』〕「巽櫓之図」拡大図
(個人蔵)



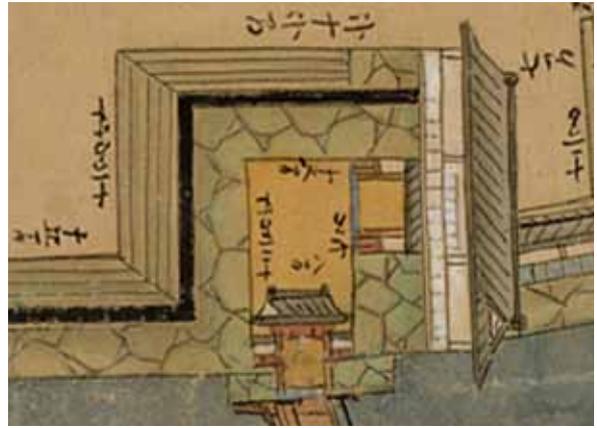
〔明治初年 福井城郭写真〕「本丸巽三重隅櫓」
(春嶽公記念文庫)

瓦門の詳細

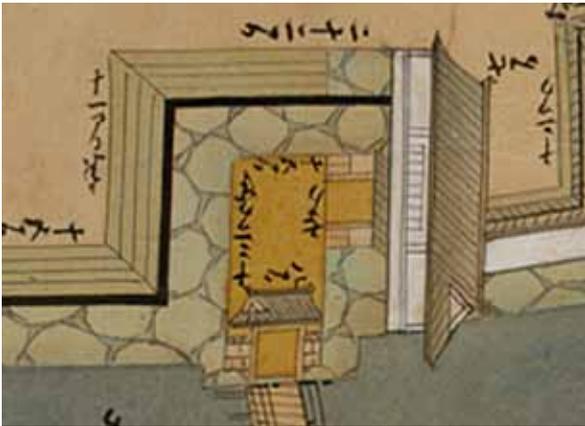
代表的な城下絵図 拡大図



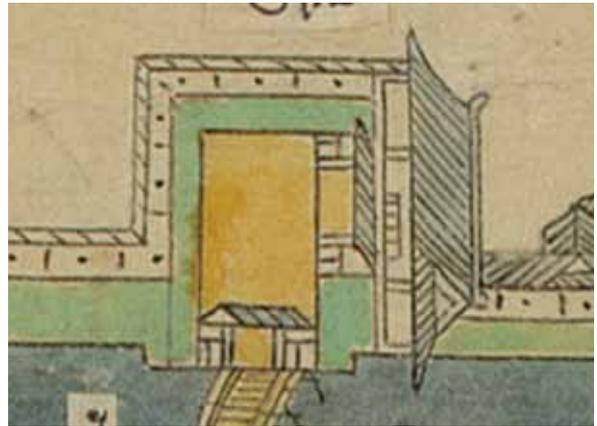
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



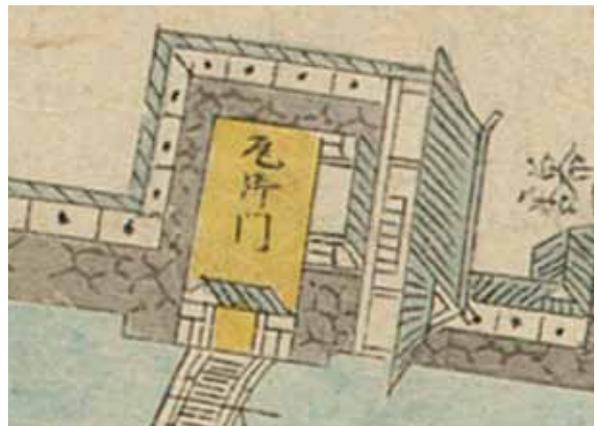
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



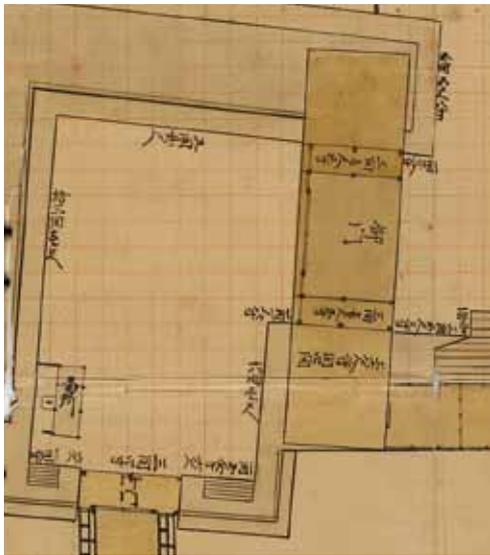
「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



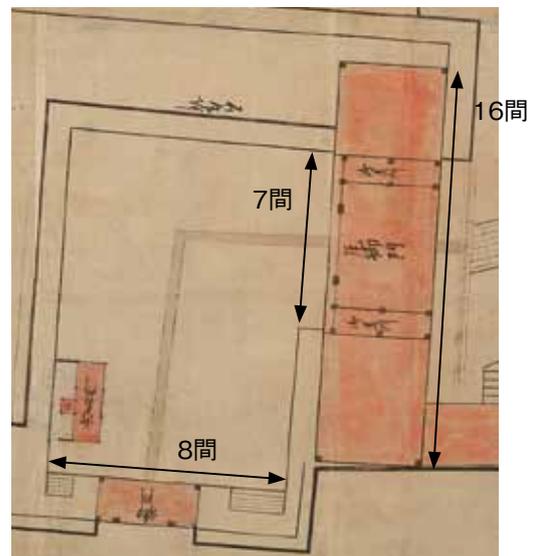
「御城下之図」(1342)

瓦門の詳細《その他の史料》

絵図に記された柱位置 および 平面規模



「福井城本丸御建物図」(1370) 拡大図
(福井県立図書館保管)



「御本丸御殿ノ図」(1371) 拡大図
(福井県立図書館保管)

写真等に残る外観



『福井城舊景』瓦御門 拡大図



『福井温故帖』「本丸登城之図」瓦御門 拡大図



『明治初年 福井城郭写真』
「本丸瓦門及御本城橋」瓦御門 拡大図
(春嶽公記念文庫)



絵葉書「陸軍特別大演習大本営福井県庁」
(吉川侃利氏蔵)

下馬御門の詳細

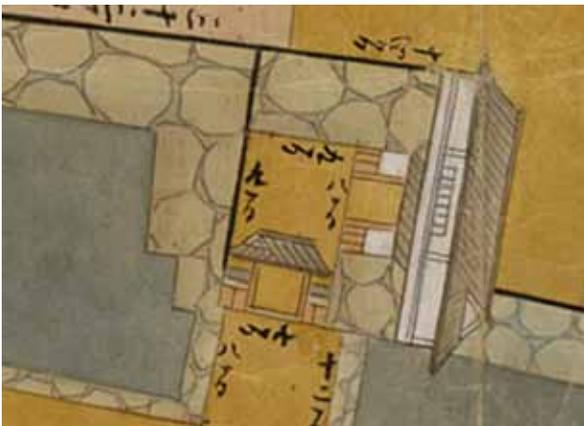
代表的な城下絵図 拡大図



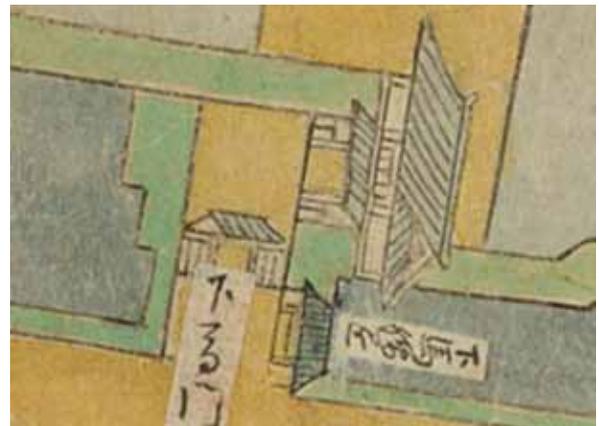
「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



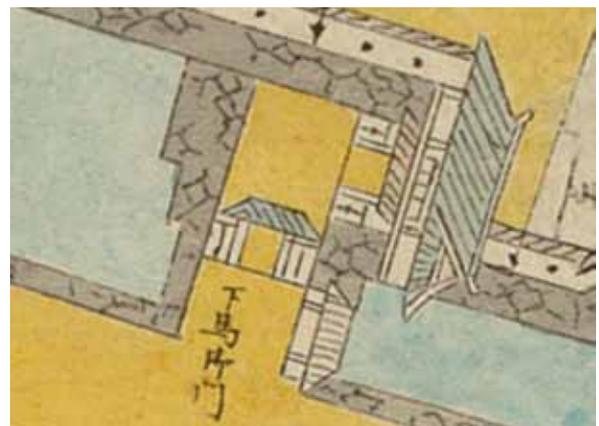
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

桜御門の詳細

代表的な城下絵図 拡大図



「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



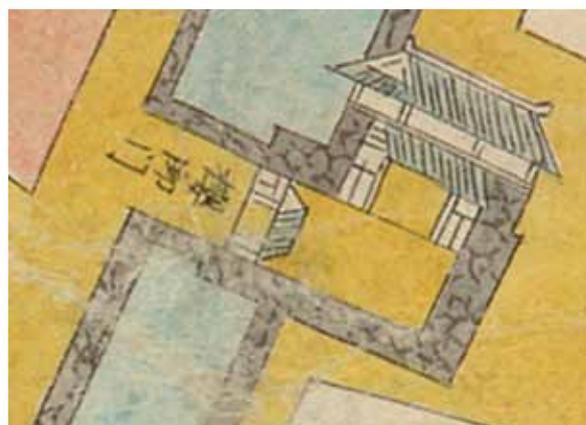
「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

下馬御門・桜御門の詳細《その他の史料》

写真等に残る外観



『福井城舊景』下馬御門前 拡大図



『福井温故帖』(百間堀・下馬御門) 拡大図



『福井藩十二か月年中行事絵巻』
「十一月 献上寒鱈早駈の図」下馬御門 拡大図
(春嶽公記念文庫)



『福井温故帖』桜御門之図 拡大図



『爆竹調馬之図絵』桜御門 拡大図
(越葵文庫)



『夢楽洞絵馬_馬威図』(復元複製品) 桜御門 拡大図
(福井県立歴史博物館蔵)

下馬御門・桜御門の詳細《その他の史料》

写真等に残る外観



『江戸—福井往還図屏風』桜御門 拡大図
(福井県立歴史博物館蔵)



『江戸—福井往還図屏風』桜御門 拡大図
(福井県立歴史博物館蔵)

下馬御門石垣の写真



「福井古城址照影」(福井県立図書館蔵)



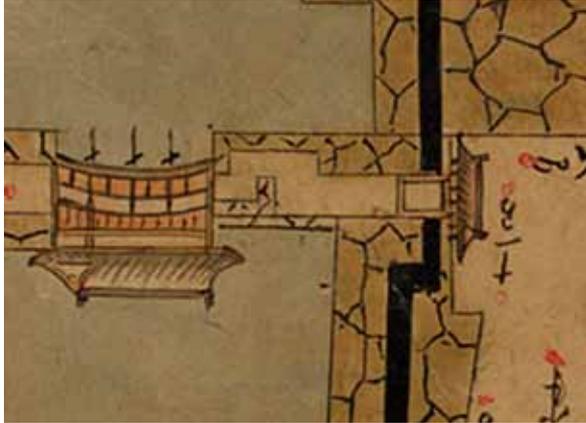
絵葉書「福井市舊城入口」(吉川侃利氏蔵)



石川光陽氏 撮影 (石川令子氏蔵)

山里口御門の詳細

代表的な城下絵図 拡大図



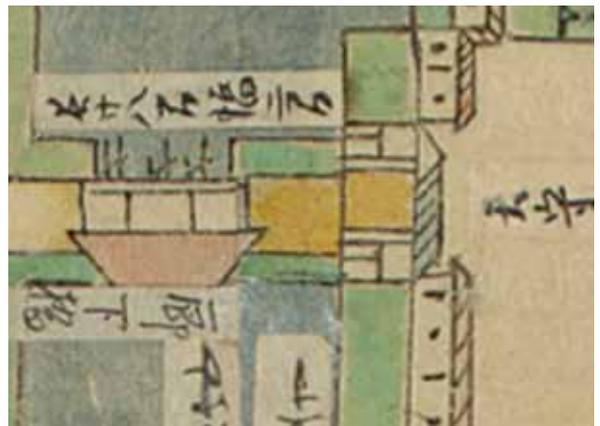
〔御城下之図 貞享二年〕（1322）



〔福居御城下絵図 貞享二年〕（1320）



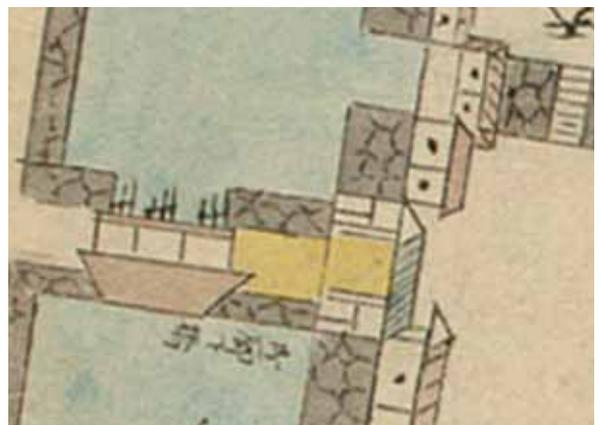
〔御城下之絵図 正徳四年〕（1325）



〔御城下絵図 安永四年〕（1336）



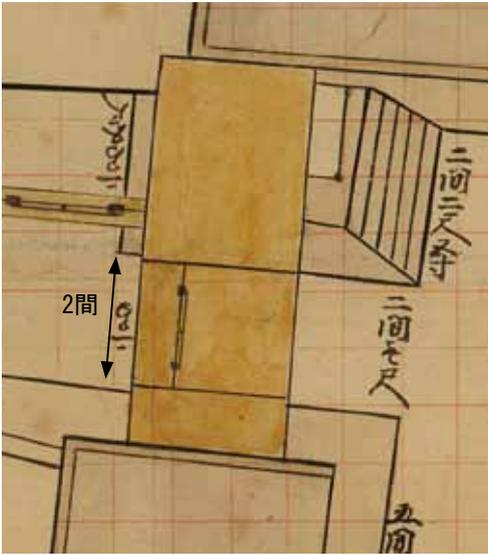
〔福井分間之図 中村清綿 文化八年〕（1340）



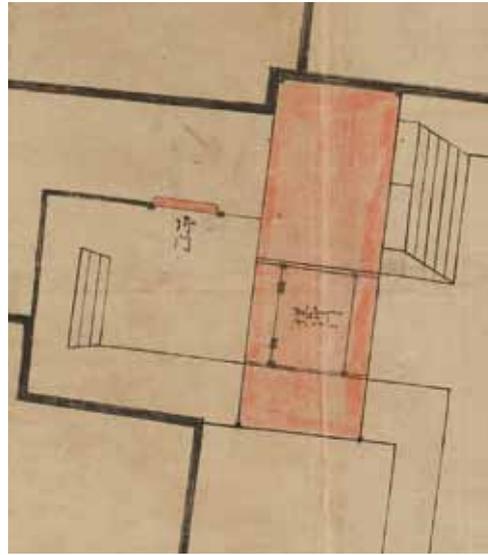
〔御城下之図〕（1342）

山里口御門の詳細《その他の史料》

絵図に記された柱位置 および 平面規模

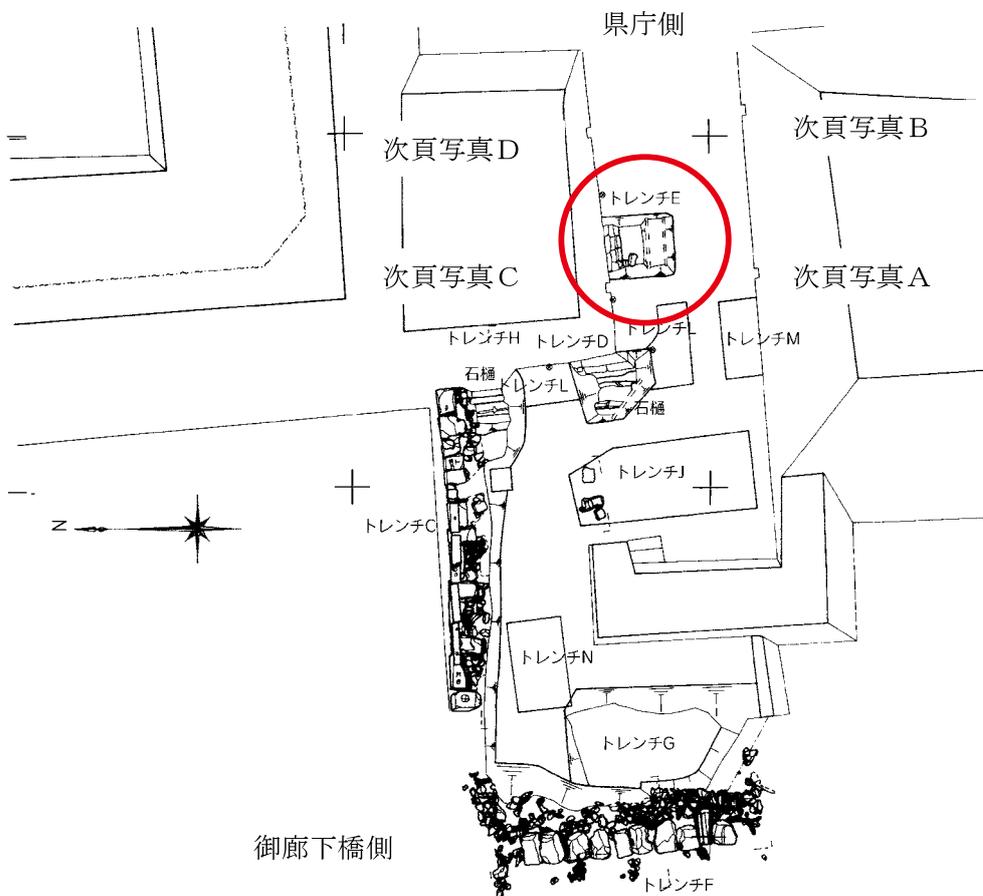


「福井城本丸御建物図」拡大図
(松平文庫(1370) 福井県立図書館保管)



「御本丸御殿ノ図」拡大図
(松平文庫(1371) 福井県立図書館保管)

現況と過去の発掘調査の結果



「御廊下橋復元整備事業報告書」平成21年(福井県)

現況写真A



現況写真B



現況写真C



現況写真D



トレンチE写真(H19年度)



トレンチE横(S61年度)



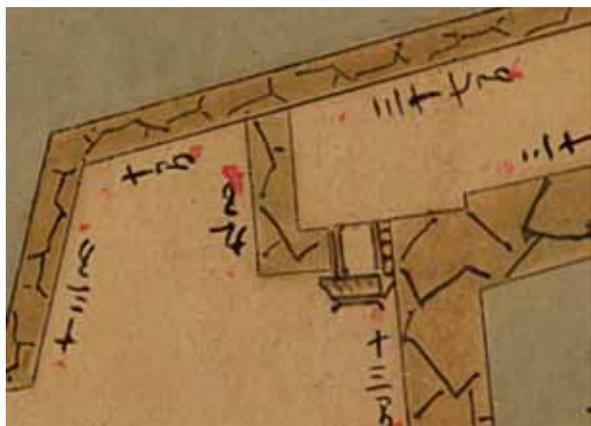
写真等に残る外観



『明治初年 福井城郭写真』「本丸御廊下橋遠景」拡大図
(春嶽公記念文庫)

中仕切御門の詳細

代表的な城下絵図 拡大図



「御城下之図 貞享二年」(1322)



「福居御城下絵図 貞享二年」(1320)



「御城下之絵図 正徳四年」(1325)



「御城下絵図 安永四年」(1336)



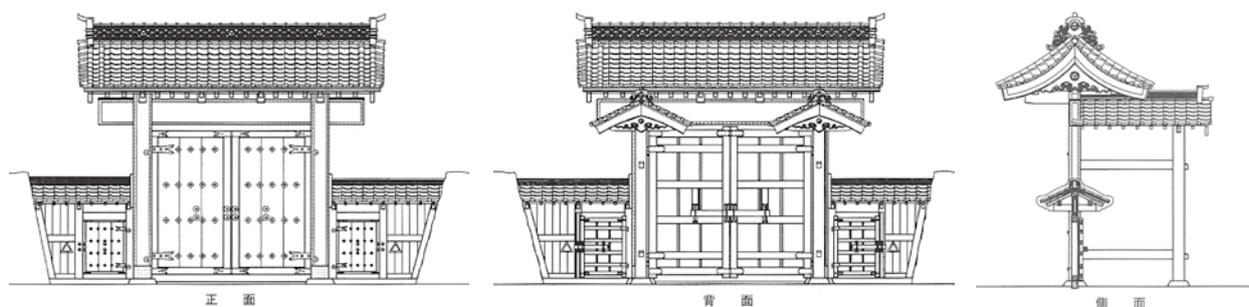
「福井分間之図 中村清綿 文化八年」(1340)



「御城下之図」(1342)

同じ規模と推定される舎人門の概要

復原された舎人門の立面図



〔福井城舎人門遺構復原整備事業報告書〕平成17年（福井市）

復原の参考とした照手門



『明治初年 福井城下写真』「九十九橋」
(春嶽公記念文庫)

復原された舎人門の概要 (福井城舎人門遺構復原整備事業報告書から抜粋)

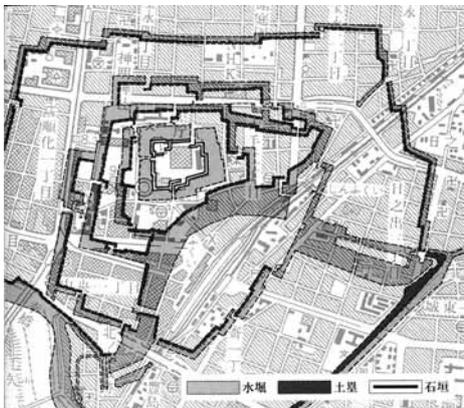
- ・復元の時代設定 幕末期
- ・門の形式 高麗門
- ・屋根 切妻造越前赤瓦葺き
- ・基本部材の寸法 本柱 1尺4寸5分×9寸
控柱 9寸角

第6節 城郭について

この節では、現在の市街地に対する当時の城下町の配置とともに、近隣藩や徳川御三家の城下町の規模と比較する。

城郭規模の比較

福井城(福井藩・68万石)



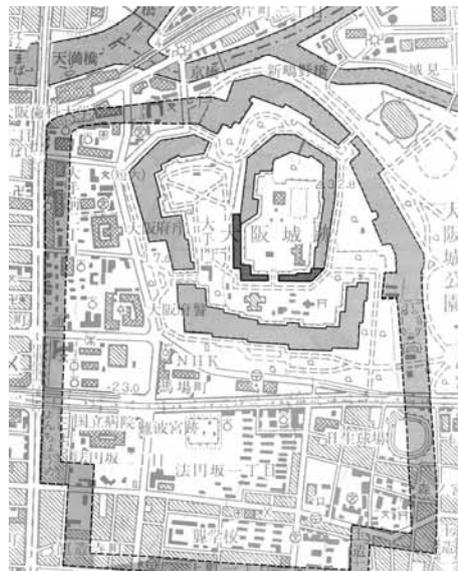
近隣藩等



金沢城
(加賀藩・122万石)

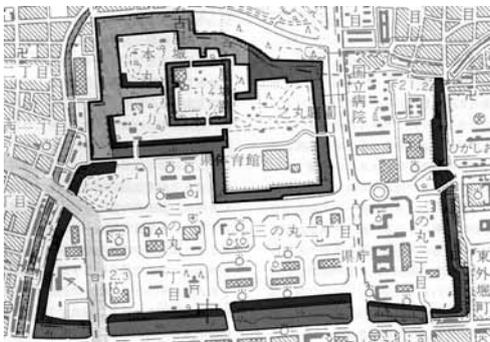


富山城
(富山藩・10万石)



大阪城

徳川御三家



名古屋城
(尾張藩・47万石)



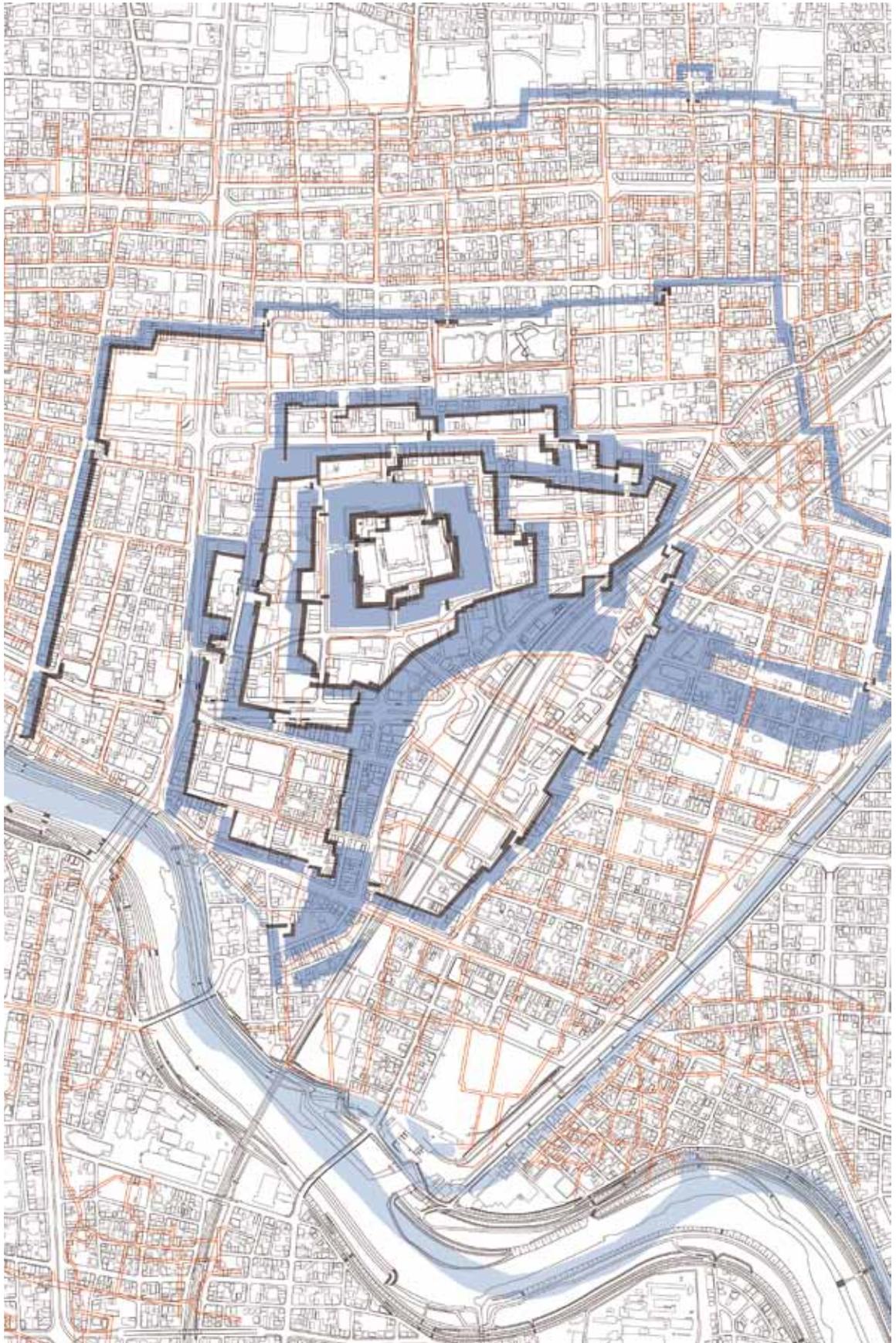
和歌山城
(紀州藩・55万石)



水戸城
(水戸藩・35万石)

出典:「日本名城図鑑」(株式会社理工学社発行)

城郭新旧対照図



「松原信之氏 福井御城下之絵図（文化3年）による」

第 7 節 史料調査の結果

第2節から第5節においてまとめた、各施設の歴史的史料の調査状況および復元整備の可能性についての検討結果を示す。

○ 総 括

- ・ いずれの施設も、平面図、立面図、外観、内装のすべてが分かる完全な史料は確認できていない。
- ・ 御廊下橋、舎人門の復元時と同様に、他城郭の史料等をもとにした考証を行い、復元のための設計をすることが必要である。
- ・ 復元にあたっては、時代設定に留意する必要がある。

○施設ごとの調査史料等

施設名		平面関係	立面関係	外観等	現況
本丸御殿		「御本丸御殿ノ図」他	—	「福井城舊景」	県庁舎等が立地
御天守		「御天守絵図」	「御天守絵図」	「御天守絵図」	天守台が残存
御座所		「御座所御絵図」他 試掘調査を実施 明治期の図面等を確認	—	「福井城舊景」	中央公園等
櫓	坤櫓	—	—	「福井城舊景」他 城下絵図	更地
	巽櫓	—	—	写真 「福井城舊景」他 城下絵図	更地
門A	瓦御門	「御本丸御殿ノ図」他	—	写真 「福井城舊景」 城下絵図	枳形石垣が撤去済み
門B	下馬御門	—	—	石垣写真を確認 「福井城舊景」 城下絵図	民間施設または道路
	桜御門	—	—	「福井城舊景」他 城下絵図	道路の可能性
門C	山里口御門	「御本丸御殿ノ図」他 基礎石の遺構確認済み	石垣に柱跡あり	写真(一部) 城下絵図	枳形石垣が残存
門D	中仕切御門	—	—	城下絵図	道路の可能性

※アンダーラインは今回の調査で新たに確認された史料等

○施設ごとの調査結果（詳細）

本丸御殿

- ・「御本丸御殿ノ図」等から、本丸御殿の間取りが把握できる。

御天守

- ・「御天守絵図」に、天守台の配置が記載されており、天守台の発掘調査を行い、絵図面の寸法と合致することを確認できれば、復元可能性は高い。図面上の大きさより、現況の方が一尺ほど大きいのが、礎石位置はほぼ合致する。
- ・同絵図は、寛文大火後の再建のための図面との意見もあるが、建築の形式をみると初期のものと考えられる。史料の年代を解明する必要がある。

御座所

- ・「御座所御絵図」等から、御座所の間取りが把握できる。
- ・発掘調査を継続し、御座所の遺構を確認する必要がある。

坤櫓、巽櫓

- ・写真が存在するため、更に解析を行うことで規模等が推測できる。発掘調査により平面位置を確認できれば、復元可能性は高い。
- ・隅の柱位置にある土台の石にはノミの跡もあり、天端の石垣自体は残っている。

瓦御門

- ・写真が存在するため、更に解析を行うことで規模等が推測できる。枡形の石垣が壊されているが、地下には石垣基礎が残る可能性もあり、平面位置が確認できれば、復元の可能性は高い。
- ・基本的な城の構造を復元するという点で、枡形石垣を復元する価値は高い。
- ・現況は自動車等の出入り口となっており、県庁舎等の移転時に、復元整備の在り方を検討することが適当である。

下馬御門、桜御門、中仕切御門

- ・桜御門は、絵画史料が多数残っている。
- ・現況が道路などであり復元は難しい。将来的に道路の付替えがあれば、跡地での復元を検討することは可能と考えられる。

山里口御門

- ・現況で、当時の枡形石垣が残り、石垣には柱跡や屋根の傾斜跡が残っているため、短期的な復元の可能性が最も高い。
- ・地盤面が約1m上がっているため、本来の姿にするなら、その分掘り下げる必要がある。周辺との段差が生じる点を対処する必要がある。